

中原区区民アンケート

報 告 書

令和6（2024）年12月

川崎市中原区

目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の方法	3
3	調査の項目	3
4	回収状況	3
5	この報告書の見方	3
6	回答者の属性	5
II	調査結果の詳細	11
1	区民の定住性	13
(1)	居住年数	13
(2)	定住意向	17
(3)	定住したい理由	20
2	中原区役所の広報	23
(1)	行政・地域情報の入手方法	23
3	地域包括ケアシステム	27
(1)	「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと	27
4	健康管理	30
(1)	健康管理について	30
5	地域の支え合い	33
(1)	地域の支え合いに協力できること	33
(2)	日常生活で困っていること、将来困るだろうと思うこと	36
(3)	地域で支え合いを希望すること、将来的に頼みたいと思うこと	39
6	地域活動	42
(1)	地域活動への参加状況	42
(2)	参加してみたい地域活動	45

7 防災対策	47
(1) 災害に備えるための取組.....	47
(2) 災害時の交通機関が運休した場合の行動	50
8 自由意見	53
Ⅲ 使用した調査票.....	55

I 調査概要

1 調査の目的

この調査は、区政に対する区民の意識、要望を、地域特性を踏まえて多面的に調査を行うことで明らかにし、調査結果を区政運営や地域課題の解決に係る基礎資料として活用することを目的に実施した。

2 調査の方法

- (1) 調査地域 …… 川崎市中原区全域
- (2) 調査対象 …… 区内に在住する満 18 歳以上の男女（外国籍の区民を含む）
- (3) 標 本 数 …… 1,000 サンプル
- (4) 標本抽出方法 …… 住民基本台帳に基づく単純無作為抽出
- (5) 調査方法 …… 郵送法／礼状兼督促状
- (6) 調査期間 …… 令和 6 年 5 月 20 日(月)～令和 6 年 6 月 10 日(月)
- (7) 調査委託機関 …… ジェイエムシー株式会社

3 調査の項目

- (1) 区民の定住性
- (2) 中原区役所の広報
- (3) 地域包括ケアシステム
- (4) 健康管理
- (5) 地域の支え合い
- (6) 地域活動
- (7) 防災対策
- (8) 自由意見

4 回収状況

- (1) 調査票配布数 1,000
- (2) 有効回収数 478（有効回収率 47.8%）

5 この報告書の見方

- (1) 図表中の「n」（number of case の略）は各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。
- (2) 集計は百分率とし、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率（%）を合計しても 100.0%にならない場合がある。
- (3) 回答比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。

- (4) 標本誤差は回答者数と得られた結果の比率によって異なるが、無作為抽出法による場合の誤差（信頼度 95%）は次の式によって得られる。

<標本誤差算出式>

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差（無作為抽出法の場合）

N = 母集団全体

n = 比率算出の基数（サンプル数）

P = 回答の比率

今回の調査結果の場合、誤差及び信頼の範囲は下表のとおりであり、「ある設問の回答者数が 478 人で、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は±4.48 である」ということとなる。

<標本誤差早見表>（信頼度：95%）

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
478	±2.74%	±3.66%	±4.19%	±4.48%	±4.57%
400	±3.00%	±4.00%	±4.58%	±4.90%	±5.00%
200	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

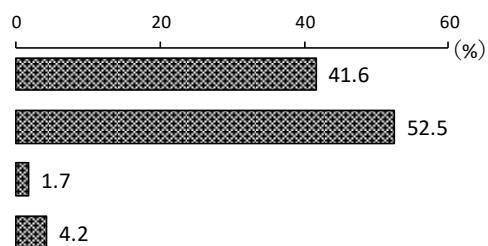
(注) Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \cong 1$ とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算した。

- (5) クロス集計時に、基数（n）が小さい数字になる場合は誤差が大きいのので注意が必要である。
- (6) クロス集計について、分析の軸となる設問の回答の「無回答」は表示していない。ただし、全体の件数には含めているので、分析軸に表記した回答者数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。
- (7) 調査結果について、次のように表記している。
- 例：2割の場合
- 「2割超」：20.1%～22.9%
- 「2割半ば」：23.0%～26.9%
- 「3割近く」：27.0%～29.9%

6 回答者の属性

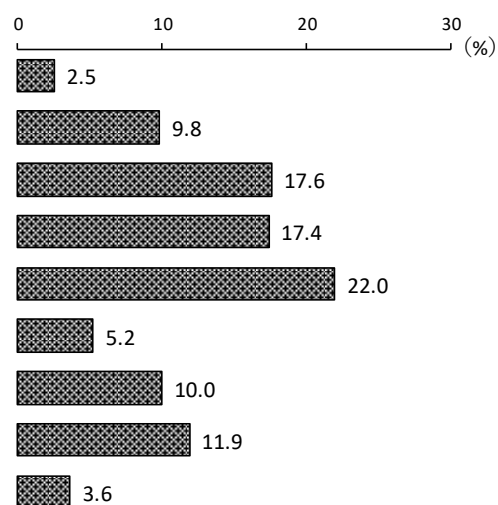
(1) 性別

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 男性	199	41.6
2 女性	251	52.5
3 回答しない	8	1.7
無回答	20	4.2
全 体	478	100.0



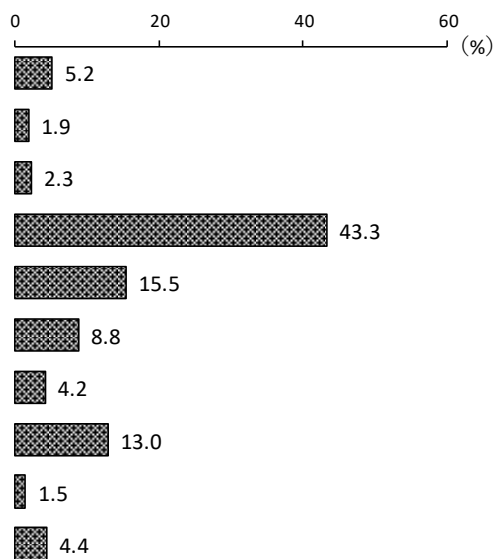
(2) 年代

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 18～19歳	12	2.5
2 20～29歳	47	9.8
3 30～39歳	84	17.6
4 40～49歳	83	17.4
5 50～59歳	105	22.0
6 60～64歳	25	5.2
7 65～74歳	48	10.0
8 75歳以上	57	11.9
無回答	17	3.6
全 体	478	100.0



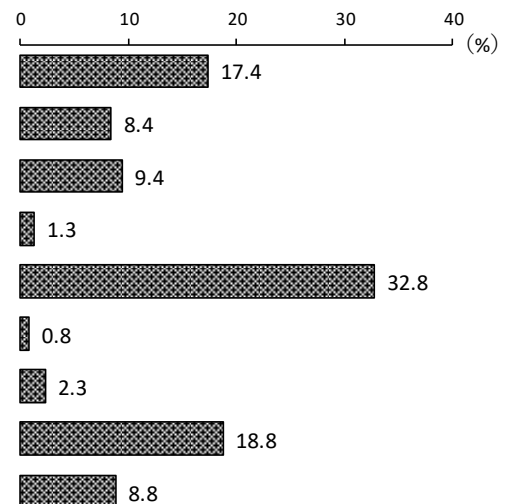
(3) 職業

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 自営業主	25	5.2
2 自営業の手伝い(家族従業者)	9	1.9
3 会社などの経営者・役員	11	2.3
4 正社員・正職員	207	43.3
5 パート・アルバイト・嘱託職員・派遣社員(正社員・正職員以外)	74	15.5
6 主婦・主夫(家事専業)	42	8.8
7 学生	20	4.2
8 無職(収入が年金のみの方を含む)	62	13.0
9 その他	7	1.5
無回答	21	4.4
全 体	478	100.0



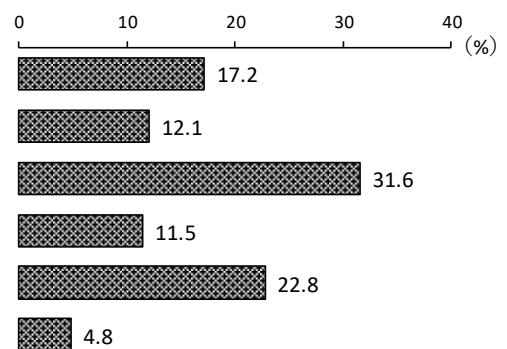
(4) 通勤・通学先

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 川崎市(中原区)	83	17.4
2 川崎市(他の区)	40	8.4
3 横浜市	45	9.4
4 神奈川県内(川崎、横浜以外)	6	1.3
5 東京都(23区内)	157	32.8
6 東京都(23区外)	4	0.8
7 その他	11	2.3
8 通勤・通学していない	90	18.8
無回答	42	8.8
全 体	478	100.0



(5) 居住地区(※)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 小杉地区	82	17.2
2 玉川地区	58	12.1
3 大戸地区	151	31.6
4 丸子地区	55	11.5
5 住吉地区	109	22.8
無回答	23	4.8
全 体	478	100.0

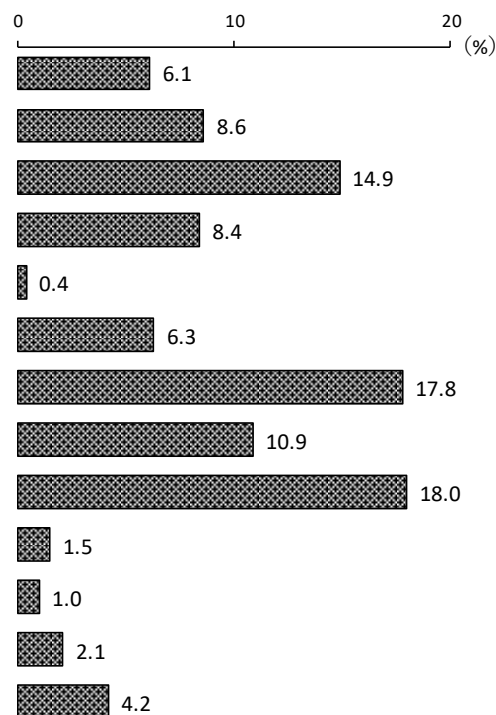


(※) 居住地区の分類

地 区 名	町 丁 名
小杉地区	市ノ坪、今井上町、今井仲町、今井西町、今井南町、小杉、小杉御殿町1・2丁目、小杉陣屋町1・2丁目、小杉町1～3丁目、等々力
玉川地区	上平間、北谷町、下沼部、田尻町、中丸子
大戸地区	上小田中1～7丁目、上新城1・2丁目、下小田中1～6丁目、下新城1～3丁目、新城、新城1～5丁目、新城中町、宮内1～4丁目
丸子地区	上丸子、上丸子山王町1・2丁目、上丸子天神町、上丸子八幡町、新丸子東1～3丁目、新丸子町、丸子通1・2丁目
住吉地区	井田1～3丁目、井田三舞町、井田杉山町、井田中ノ町、大倉町、荻宿、木月1～4丁目、木月伊勢町、木月祇園町、木月住吉町、木月大町、西加瀬

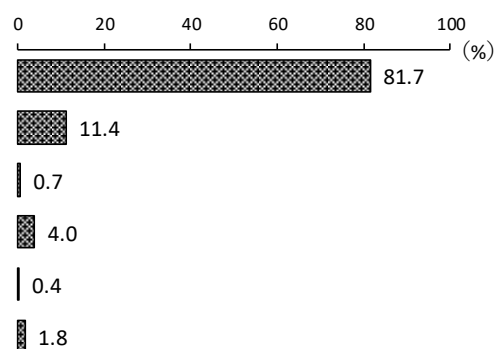
(6) よく利用する駅

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 J R武蔵小杉(南武線)	29	6.1
2 J R武蔵小杉(横須賀線)	41	8.6
3 J R武蔵中原	71	14.9
4 J R武蔵新城	40	8.4
5 J R向河原	2	0.4
6 J R平間	30	6.3
7 東急武蔵小杉	85	17.8
8 東急新丸子	52	10.9
9 東急元住吉	86	18.0
10 東急日吉	7	1.5
11 その他	5	1.0
12 駅は利用しない	10	2.1
無回答	20	4.2
全 体	478	100.0



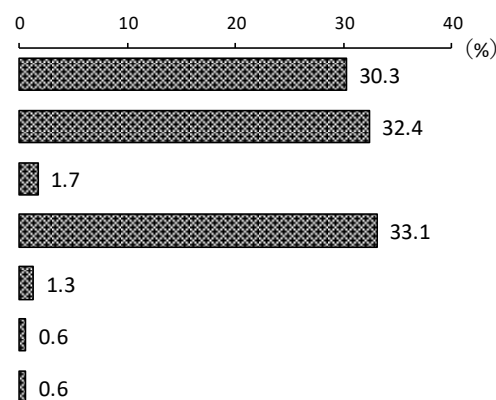
(7) よく利用する駅までの主な交通手段 ((6) で「1」～「11」と回答した方に対する質問)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 徒歩	366	81.7
2 自転車	51	11.4
3 バイク	3	0.7
4 バス	18	4.0
5 自家用車	2	0.4
無回答	8	1.8
全 体	448	100.0



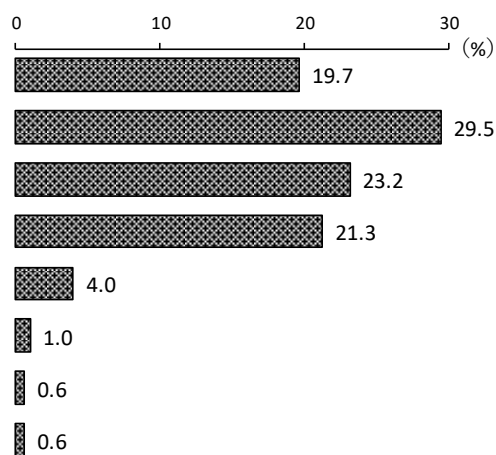
(8) 住居形態

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 持家(一戸建)	145	30.3
2 持家(マンション・集合住宅)	155	32.4
3 借家(一戸建)	8	1.7
4 借家(マンション・集合住宅)	158	33.1
5 社宅・寮・公務員宿舎	6	1.3
6 その他	3	0.6
無回答	3	0.6
全 体	478	100.0



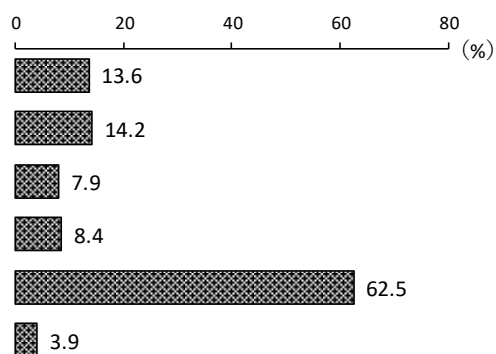
(9) 家族人数

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 1人	94	19.7
2 2人	141	29.5
3 3人	111	23.2
4 4人	102	21.3
5 5人	19	4.0
6 6人	5	1.0
7 7人以上	3	0.6
無回答	3	0.6
全 体	478	100.0



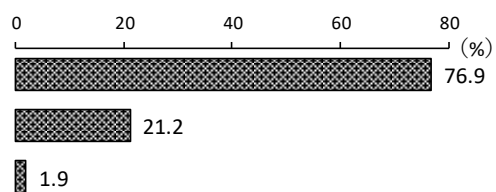
(9-1) お住まいの方 (複数回答、(9)で「2人」～「7人以上」と回答した方に対する質問)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 未就学児	52	13.6
2 小学生	54	14.2
3 中学生	30	7.9
4 高校生	32	8.4
5 いない	238	62.5
無回答	15	3.9
全 体	381	100.0



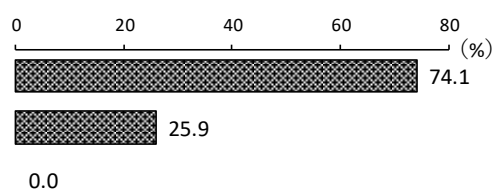
(9-2) 同居している未就学児の人数 ((9-1)で「未就学児」と回答した方に対する質問)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 1人	40	76.9
2 2人	11	21.2
3 3人以上	1	1.9
全 体	52	100.0



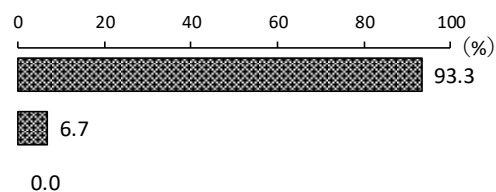
(9-3) 同居している小学生の人数 ((9-1)で「小学生」と回答した方に対する質問)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 1人	40	74.1
2 2人	14	25.9
3 3人以上	0	0.0
全 体	54	100.0



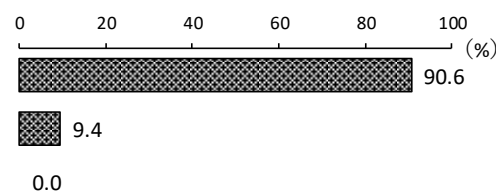
(9-4) 同居している中学生の人数 ((9-1)で「中学生」と回答した方に対する質問)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 1人	28	93.3
2 2人	2	6.7
3 3人以上	0	0.0
全 体	30	100.0



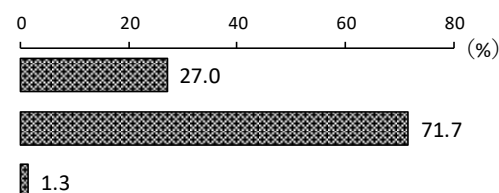
(9-5) 同居している高校生の人数 ((9-1)で「高校生」と回答した方に対する質問)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 1人	29	90.6
2 2人	3	9.4
3 3人以上	0	0.0
全 体	32	100.0



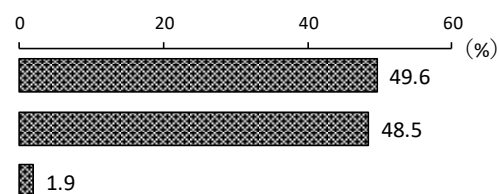
(9-6) 65歳以上の家族との同居 ((9)で「2人」～「7人以上」と回答した方に対する質問)

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 はい	103	27.0
2 いいえ	273	71.7
無回答	5	1.3
全 体	381	100.0



(10) 町内会・自治会の加入状況

選択肢	基数(人)	構成比(%)
1 はい	237	49.6
2 いいえ	232	48.5
無回答	9	1.9
全 体	478	100.0



Ⅱ 調査結果の詳細

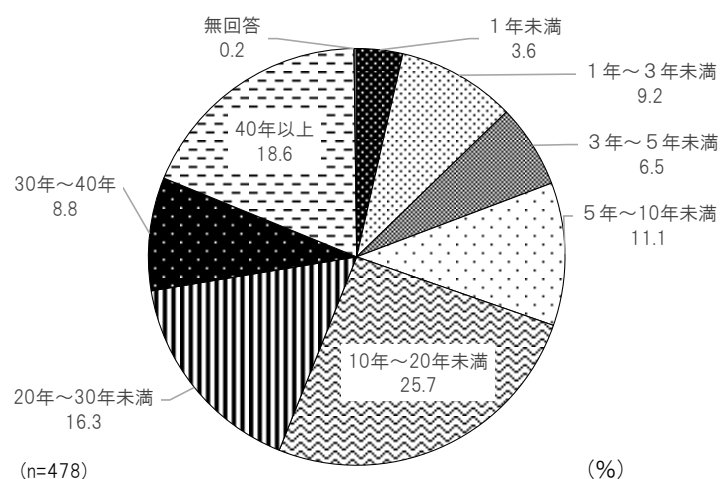
1 区民の定住性

(1) 居住年数

問1 あなたは中原区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つだけ)

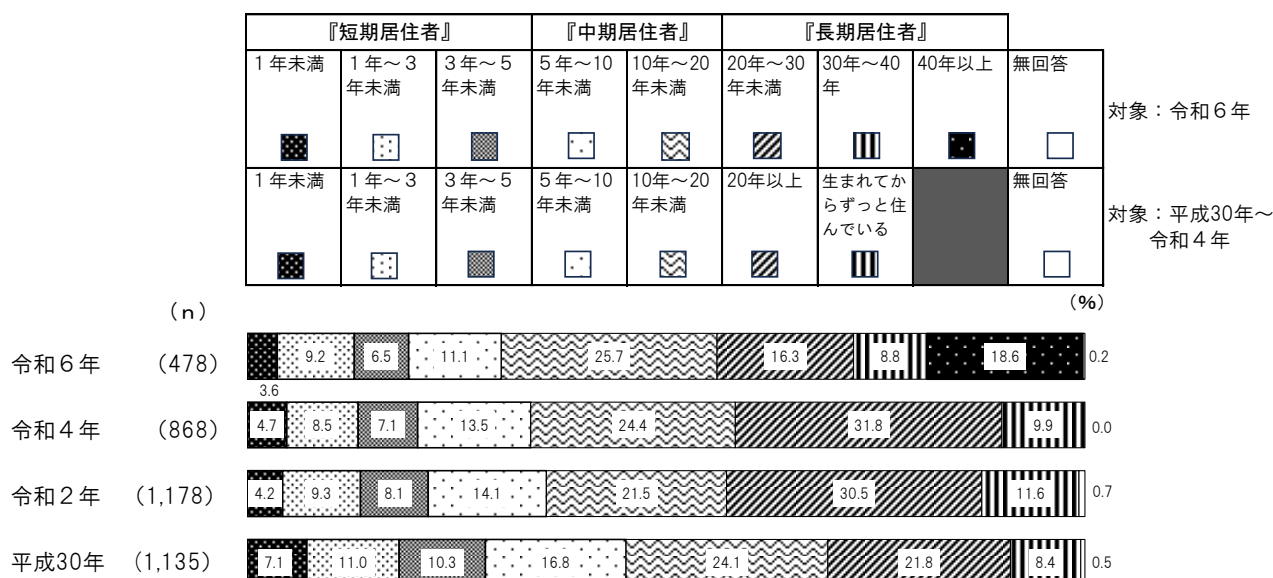
居住年数を聞いたところ、「20年～30年未満」(16.3%)、「30年～40年」(8.8%)及び「40年以上」(18.6%)の3つを合わせた『長期居住者』(43.7%)は4割半ばとなっている。「5年～10年未満」(11.1%)及び「10年～20年未満」(25.7%)の2つを合わせた『中期居住者』(36.8%)は3割半ばで、「1年未満」(3.6%)、「1年～3年未満」(9.2%)及び「3年～5年未満」(6.5%)の3つを合わせた『短期居住者』(19.3%)は2割近くとなっている。(図表1-1-1)

図表1-1-1 居住年数



前回の調査と比較すると、『短期居住者』は1.0ポイント減少し、『長期居住者』は2.0ポイント増加している。(図表1-1-2)

図表1-1-2 居住年数—過去の調査との比較



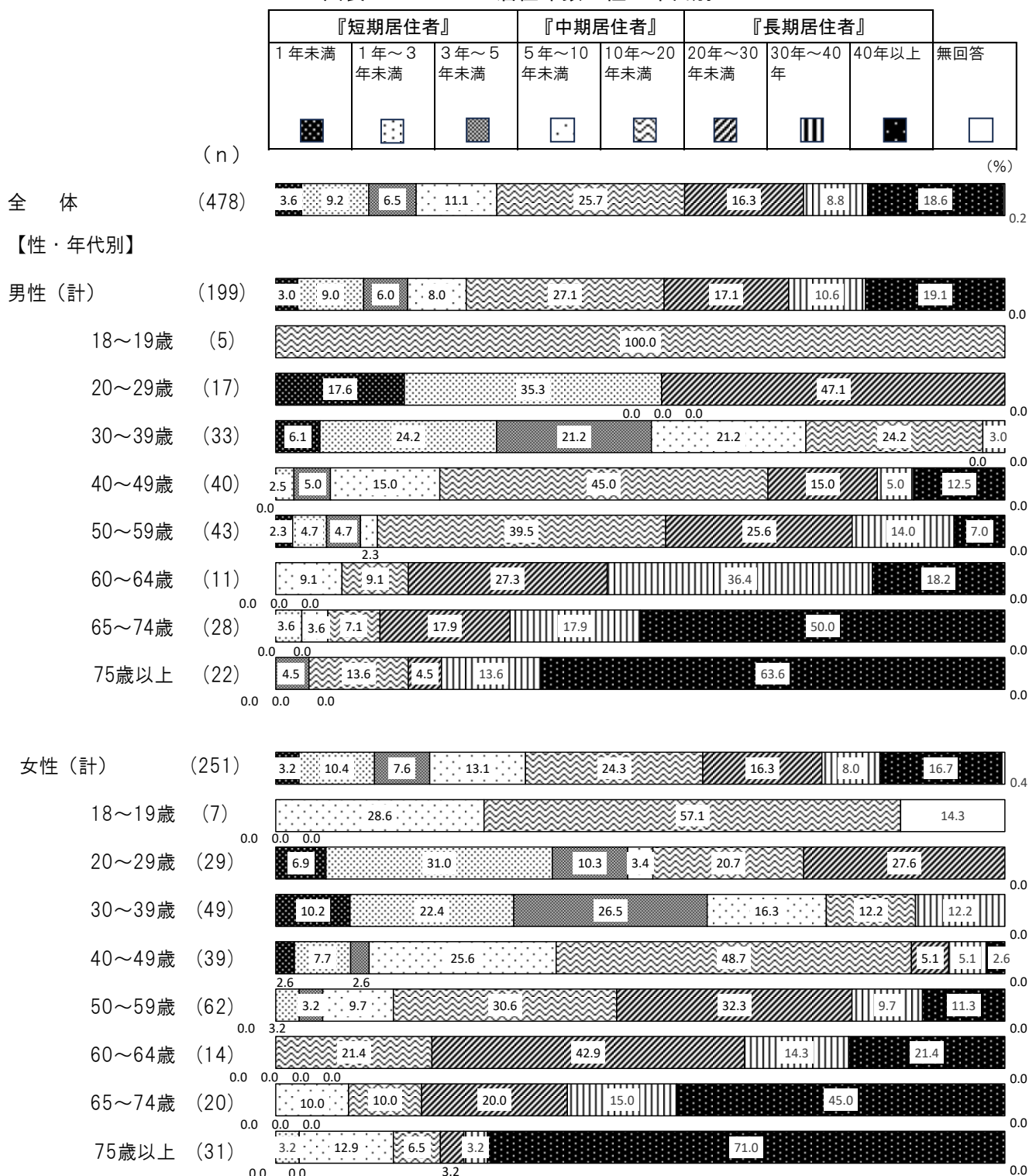
『短期居住者』は、全体では2割近く（19.3%）であるが、性・年代別にみると、20～39歳では割合が最も多く、男性20～29歳（52.9%）及び30～39歳（51.5%）が5割超、女性20～29歳（48.2%）が5割近く、30～39歳（59.1%）が6割近くとなっている。

『中期居住者』は、全体では3割半ば（36.8%）で、性・年代別にみると、40～49歳では割合が最も多く、男性40～49歳（60.0%）で6割、女性40～49歳（74.3%）で7割半ばとなっている。

『長期居住者』は、全体では4割半ば（43.7%）で、性・年代別にみると、50歳以上では割合が最も多く、男性60歳以上では8割超から8割半ば、女性60歳以上では8割近くから8割となっている。

（図表1-1-3）

図表1-1-3 居住年数－性・年代別

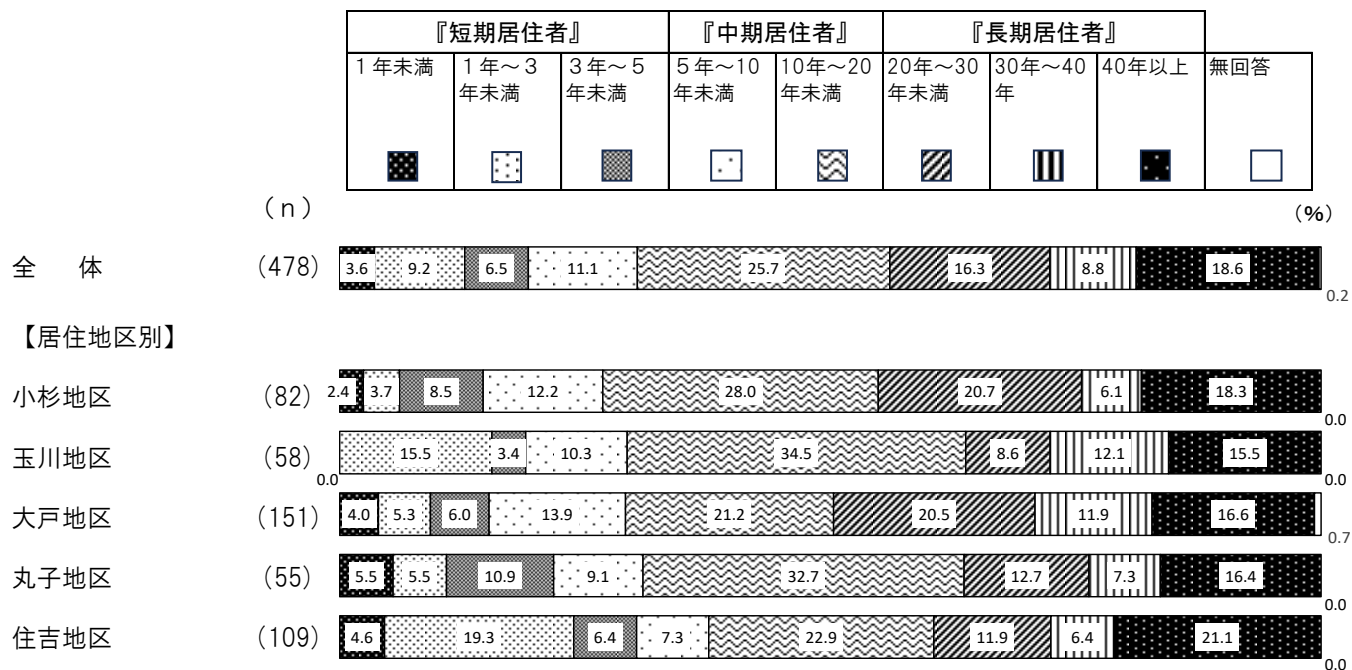


※男性18～19歳は「10年～20年未満」100%のため、他の割合は省略

※18～19歳の20年以上、20～29歳の30年以上、30～39歳の40年以上は該当しない選択肢のため割合（0.0）は省略

居住地区別に居住年数が最も多い地区をみると、『短期居住者』は、住吉地区（30.3%）が3割超、『中期居住者』は、玉川地区（44.8%）が4割半ば、『長期居住者』は、大戸地区（49.0%）が5割近くとなっている。（図表1-1-4）

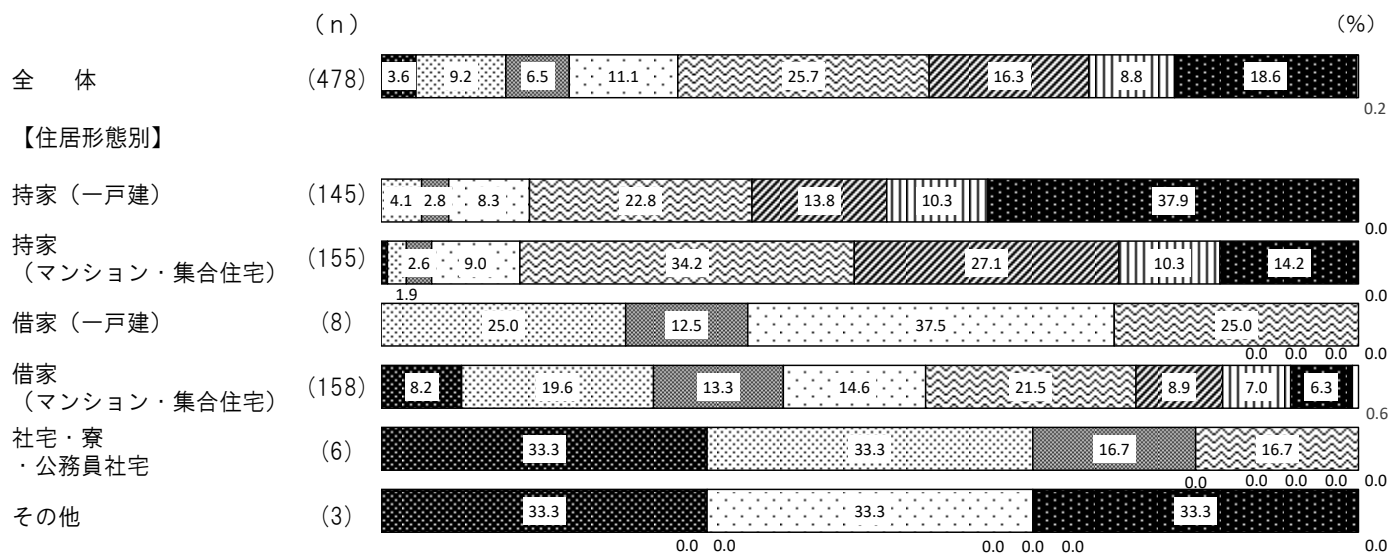
図表 1-1-4 居住年数－居住地区別



住居形態別にみると、『短期居住者』は、借家（マンション・集合住宅）（41.1%）が4割超、『中期居住者』は、持家（マンション・集合住宅）（43.2%）が4割半ば、『長期居住者』は、持家（一戸建）（62.0%）が6割超となっている。（図表1-1-5）

図表1-1-5 居住年数－住居形態別

『短期居住者』			『中期居住者』		『長期居住者』			
1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年～30年未満	30年～40年	40年以上	無回答

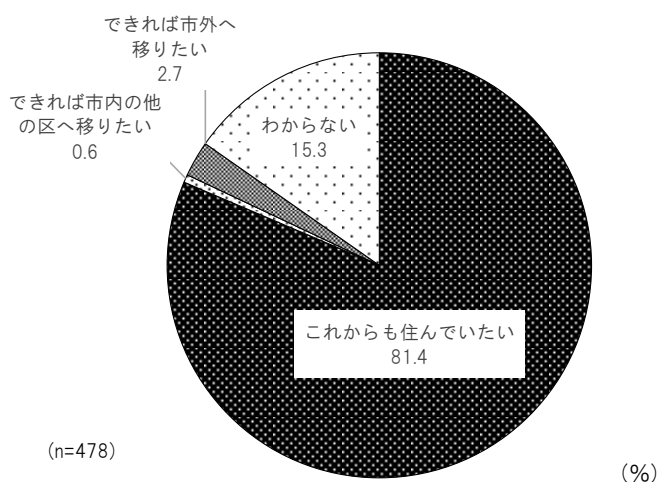


(2) 定住意向

問2 あなたはこれからも中原区にお住まいになる予定ですか。(○は1つだけ)

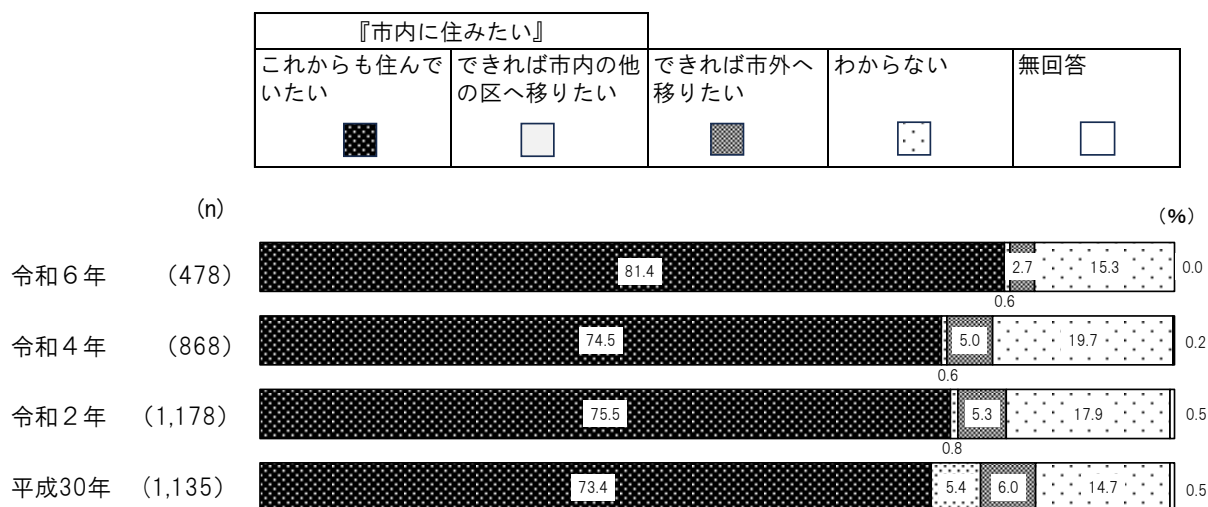
定住意向を聞いたところ、「これからも住んでいたい」(81.4%)が最も多く、「これからも住んでいたい」及び「できれば市内の他の区へ移りたい」(0.6%)を合わせた『市内に住みたい』(82.0%)は8割超となっている。一方、「できれば市外へ移りたい」(2.7%)の割合は少ない。(図表1-2-1)

図表1-2-1 定住意向



前回の調査と比較すると、「これからも住んでいたい」が6.9ポイント増加し、一方、「できれば市外へ移りたい」は2.3ポイント減少している。(図表1-2-2)

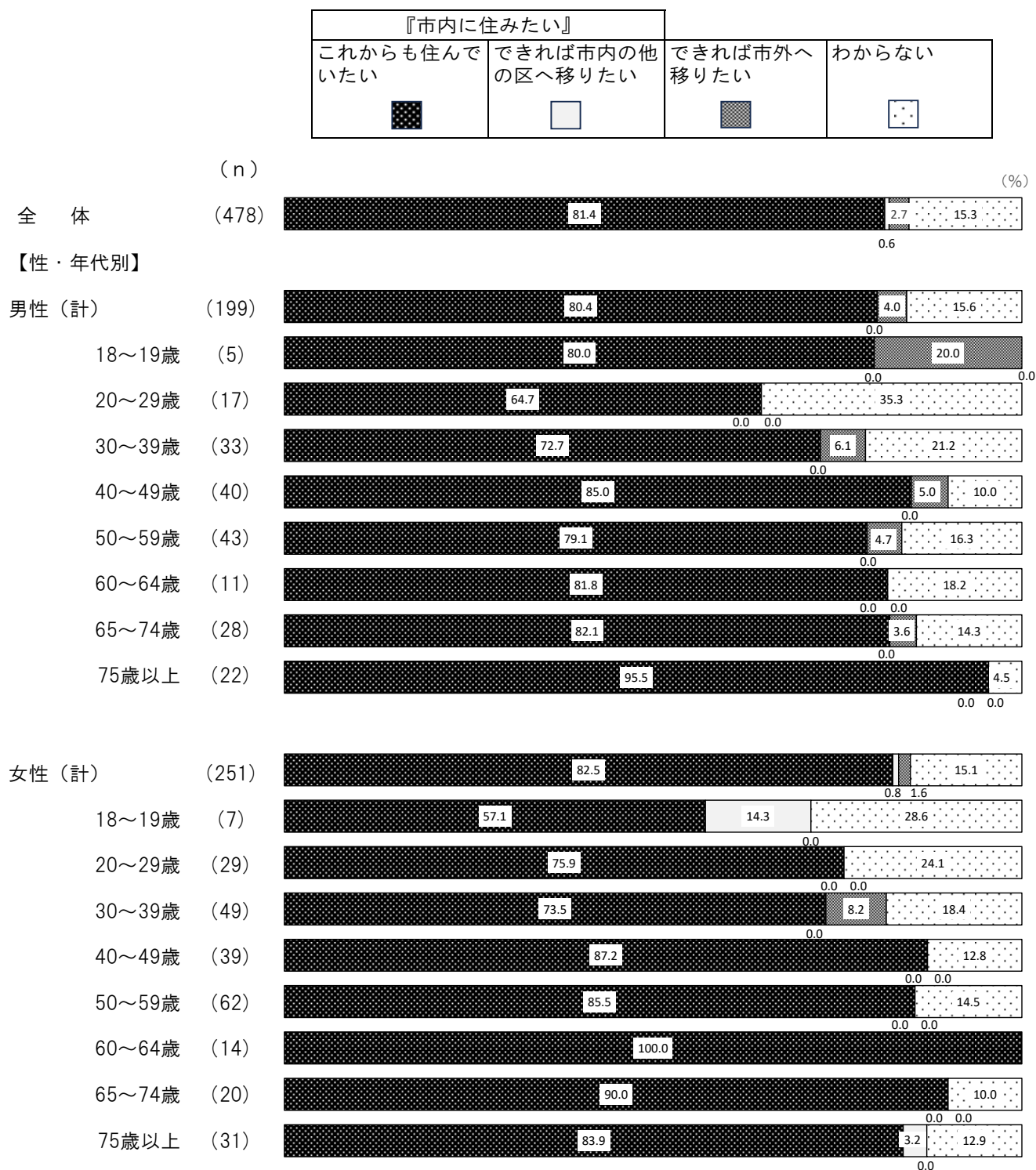
図表1-2-2 定住意向—過去の調査との比較



性・年代別にみると、「これからも住んでいたい」は、男性 40 歳以上では 8 割近くから 9 割半ば、女性 40 歳以上では、8 割半ばから 10 割となっている。一方、男性 20～29 歳（64.7%）で少ない。

（図表 1－2－3）

図表 1－2－3 定住意向－性・年代別



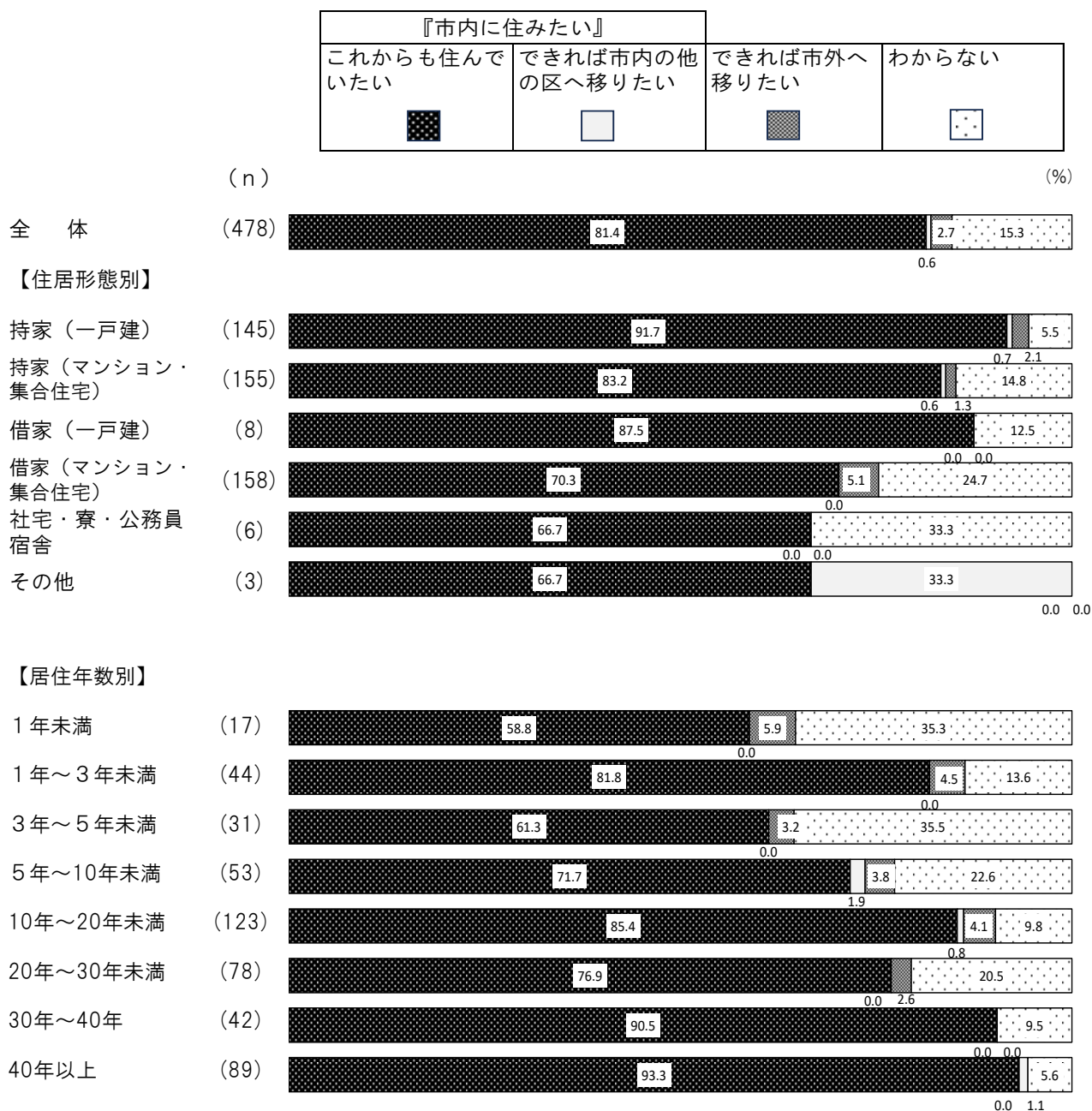
※女性 60～64 歳は「これからも住んでいたい」100%のため、他の割合は省略

住居形態別にみると、「これからも住んでいたい」は、持家（一戸建）（91.7%）が9割超で最も多く、持家（マンション・集合住宅）（83.2%）は8割半ばとなっている。

居住年数別にみると、「これからも住んでいたい」は、30年以上で9割超から9割半ばとなっている。

（図表1－2－4）

図表1－2－4 定住意向－住居形態別・居住年数別



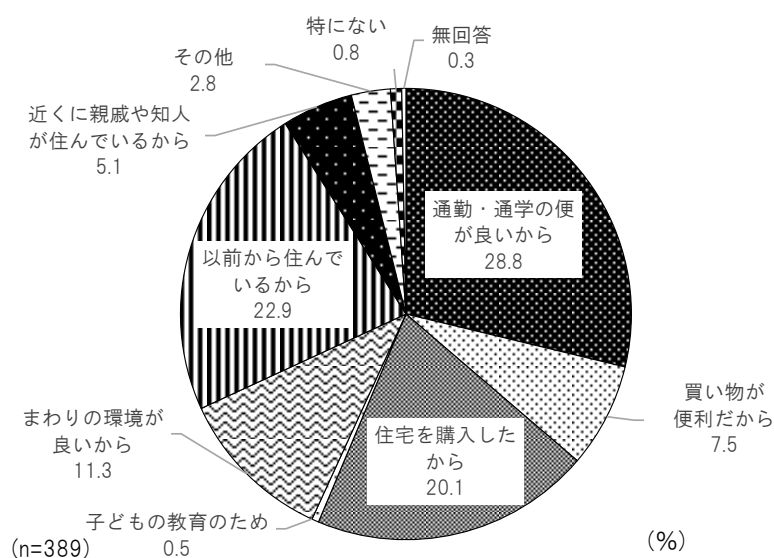
(3) 定住したい理由

(問2で、「1.これからも住んでいたい」と回答した方に)

問2-1 あなたが中原区に住んでいたい主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

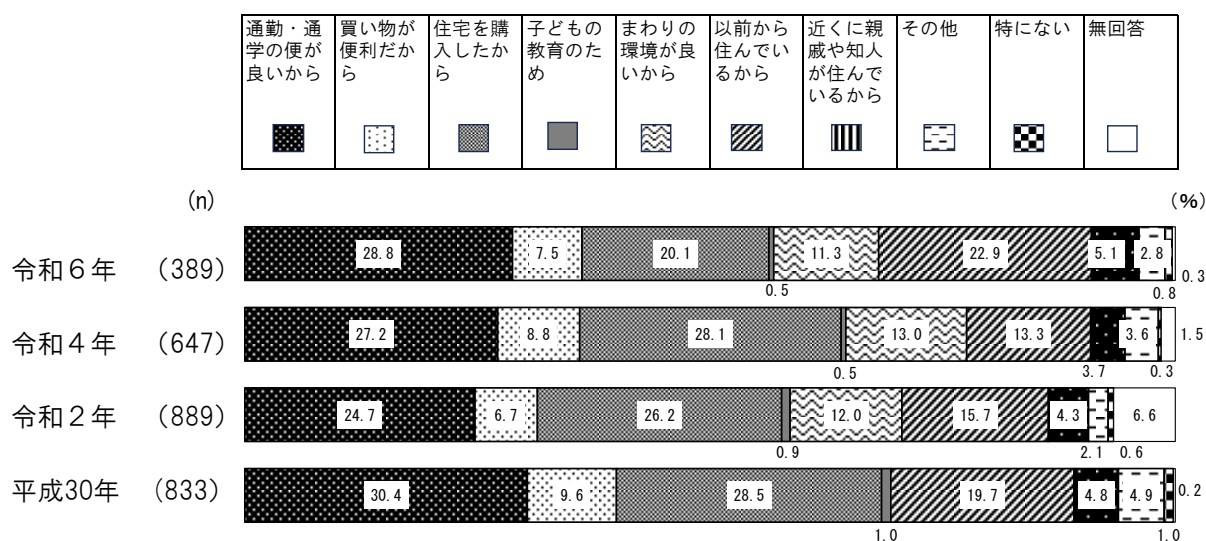
「これからも住んでいたい」理由を聞いたところ、「通勤・通学の便が良いから」(28.8%)が3割近くで最も多く、次いで「以前から住んでいるから」(22.9%)、「住宅を購入したから」(20.1%)となっている。(図表1-3-1)

図表1-3-1 定住したい理由



前回の調査と比較すると、「住宅を購入したから」が8.0ポイント減少し、一方、「以前から住んでいるから」が9.6ポイント増加している。(図表1-3-2)

図表1-3-2 定住したい理由—過去の調査との比較

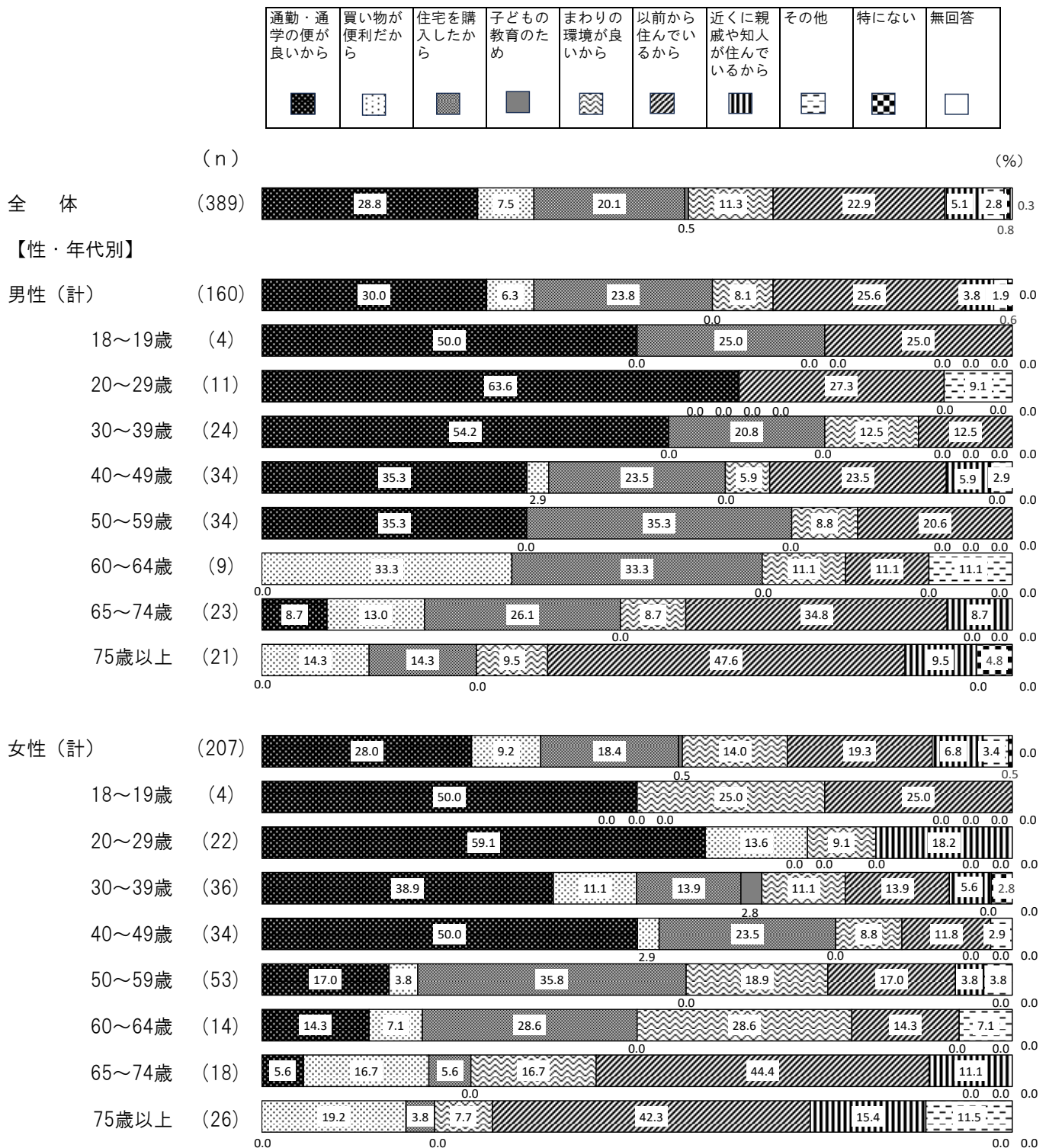


※「まわりの環境がよいから」は令和2年からの新規選択肢

性・年代別にみると、「通勤・通学の便が良いから」は、おおむね男女ともに年代が下がるほど割合が多くなり、男性 20～29 歳（63.6%）で 6 割半ば、女性 20～29 歳（59.1%）で 6 割近くと最も多くなっている。

「以前から住んでいるから」は、男性 65～74 歳（34.8%）が 3 割半ば、男性 75 歳以上（47.6%）が 5 割近く、女性 65～74 歳（44.4%）が 4 割半ば、女性 75 歳以上（42.3%）が 4 割超と各年代別で最も多くなっている。（図表 1－3－3）

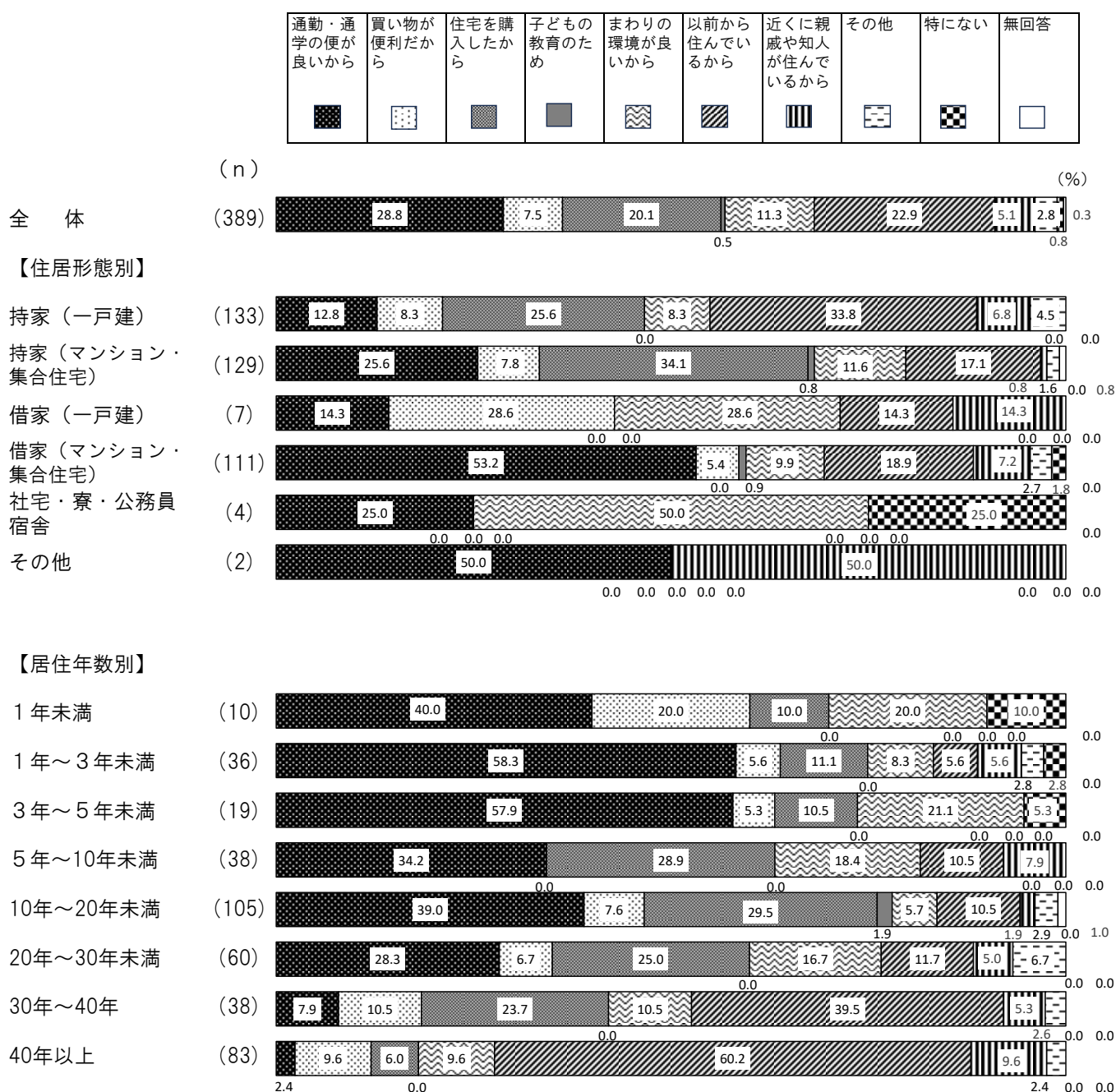
図表 1－3－3 定住したい理由－性・年代別



住居形態別にみると、「通勤・通学の便が良いから」は、借家（マンション・集合住宅）（53.2%）が5割半ばで最も多い。「住宅を購入したから」は、持家（一戸建）（25.6%）より、持家（マンション・集合住宅）（34.1%）が8.5ポイント多くなっている。「以前から住んでいるから」は、持家（一戸建）（33.8%）が3割半ばで最も多い。

居住年数別にみると、「通勤・通学の便が良いから」は、1年～3年未満（58.3%）及び3年～5年未満（57.9%）が6割近くで多い。また、30年未満までは、「通勤・通学の便が良いから」が各年数の中で最も多い。「住宅を購入したから」は、5年～10年未満（28.9%）、10年～20年未満（29.5%）が3割近くで多い。「以前から住んでいるから」は、40年以上（60.2%）が6割超で最も多い。（図表1-3-4）

図表1-3-4 定住したい理由－住居形態別・居住年数別



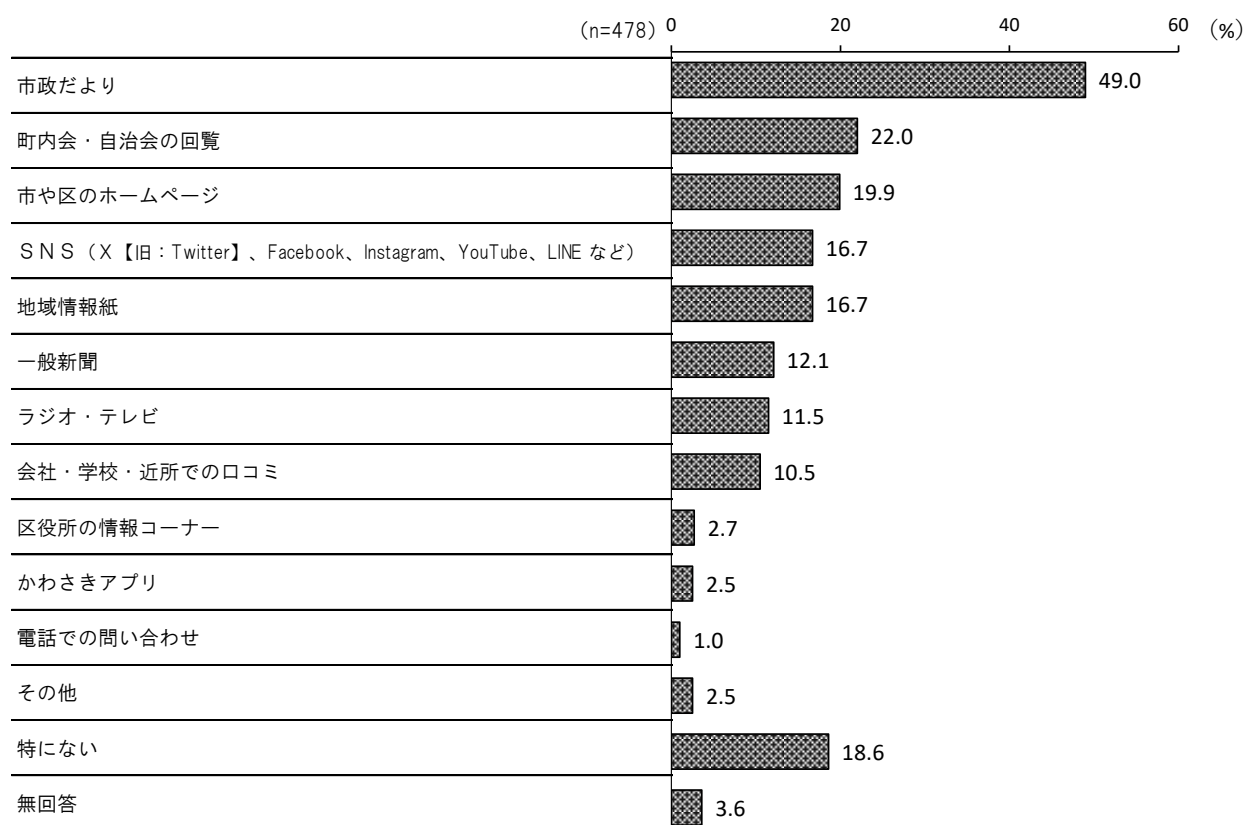
2 中原区役所の広報

(1) 行政・地域情報の入手方法

問3 ふだん、あなたは行政情報や地域情報を何から入手していますか。(〇はいくつでも)

ふだん、行政情報や地域情報を何から入手しているか聞いたところ、「市政だより」(49.0%)が5割近くで最も多く、次いで「町内会・自治会の回覧」(22.0%)、「市や区のホームページ」(19.9%)となっている。一方、「特にない」(18.6%)は2割近くとなっている。(図表2-1-1)

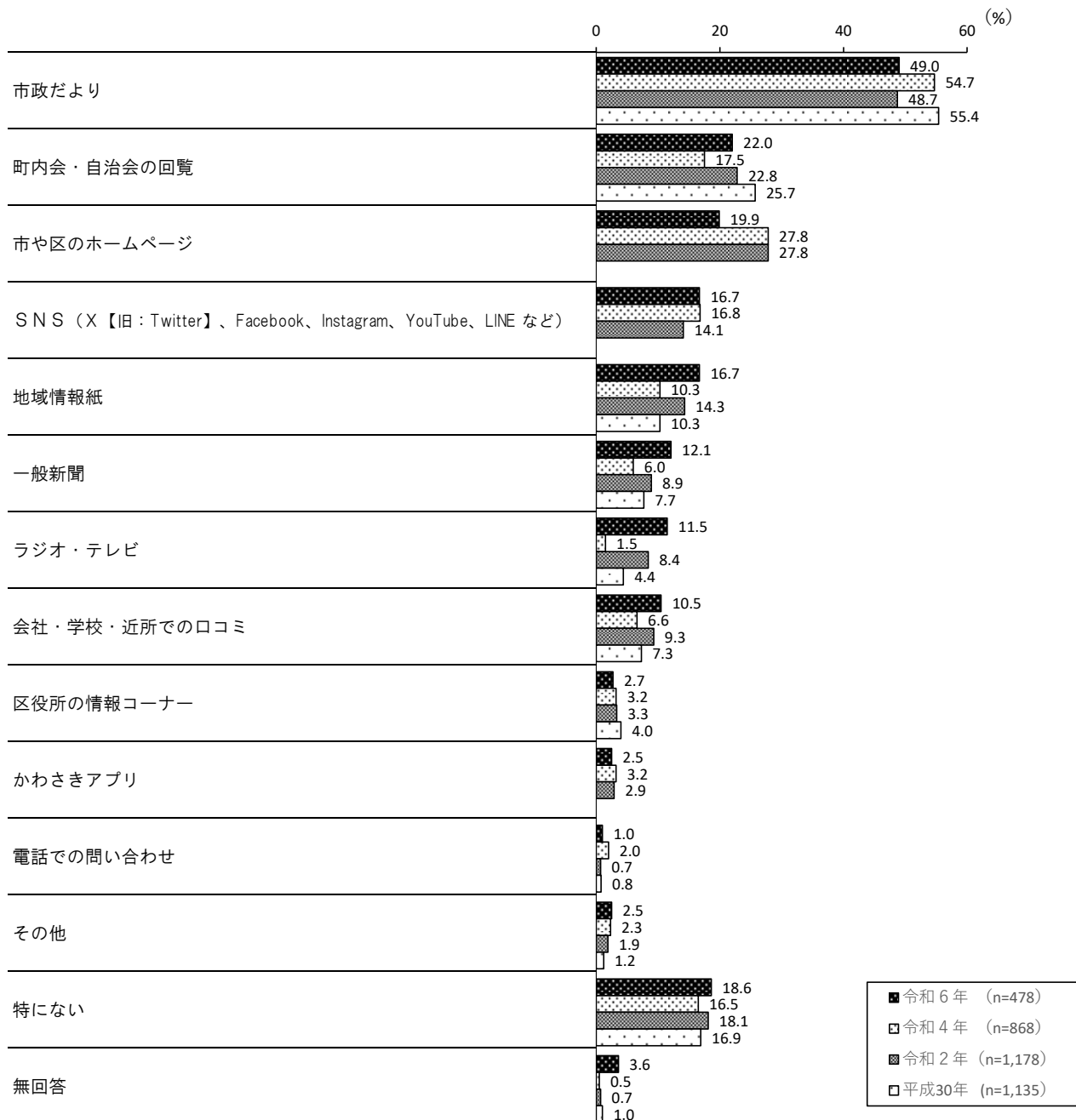
図表2-1-1 行政・地域情報の入手方法



前回の調査と比較すると、「市政だより」が5.7ポイント、「市や区のホームページ」が7.9ポイント、それぞれ減少している。一方、「町内会・自治会の回覧」が4.5ポイント、「地域情報紙」が6.4ポイント、「一般新聞」が6.1ポイント、「ラジオ・テレビ」が10.0ポイント、「会社・学校・近所での口コミ」が3.9ポイント、それぞれ増加している。

多い順でみると、前回調査では3番目に多かった「町内会・自治会の回覧」が同調査で2番目に多かった「市や区のホームページ」を上回り、順位が入れ替わっている。（図表2-1-2）

図表2-1-2 行政・地域情報の入手方法—過去の調査との比較

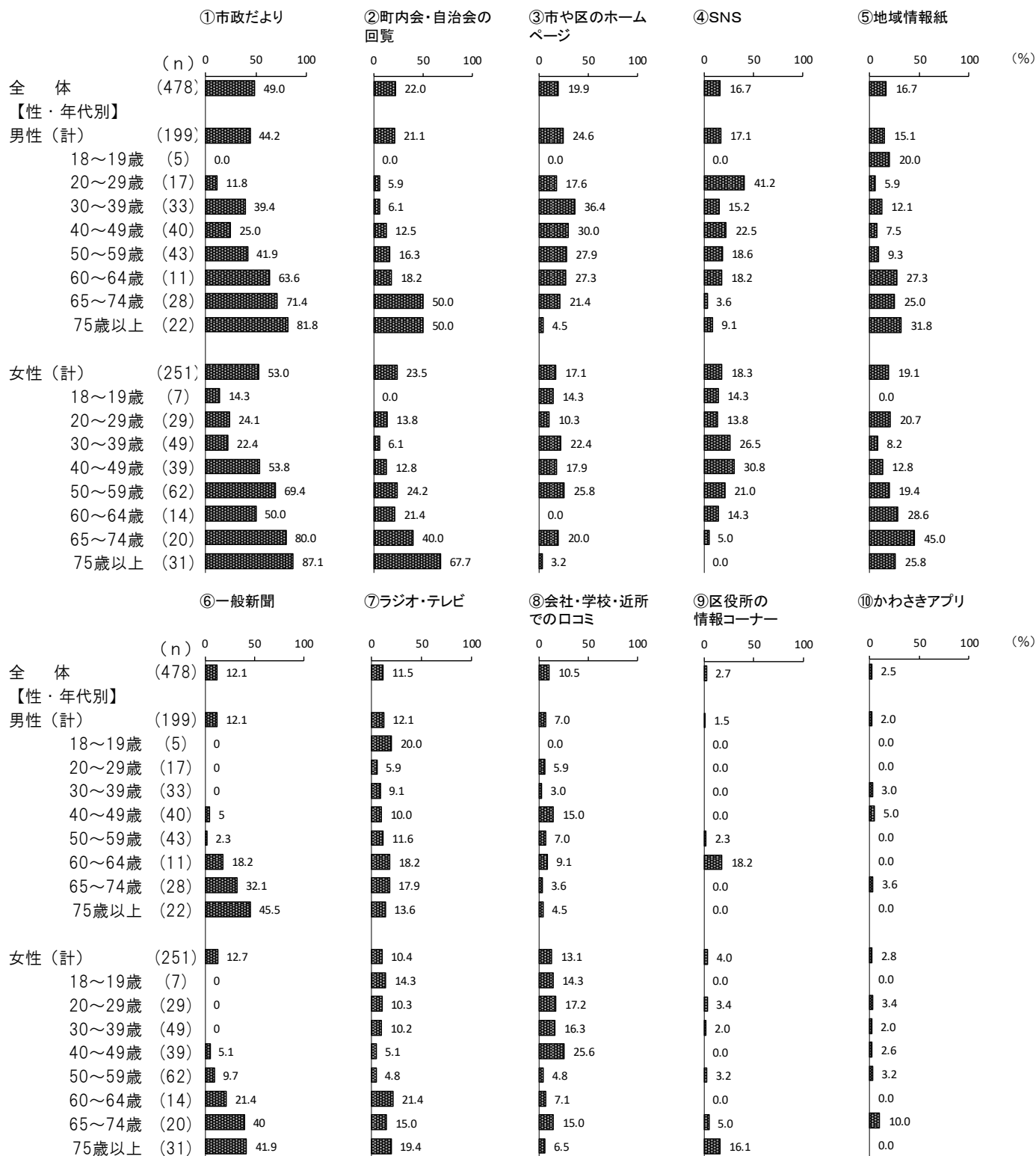


※「市や区のホームページ」、「SNS（ソーシャルネットワークサービス）」、「かわさきアプリ」は令和2年からの新規選択肢

性・年代別にみると、「①市政だより」は、おおむね年代が上がるにつれ多くなっている。また、「②町内会・自治会の回覧」、「⑤地域情報紙」、「⑥一般新聞」も年代が上がるとともに多くなっている。

(図表 2 - 1 - 3)

図表 2 - 1 - 3 行政・地域情報の入手方法－性・年代別（上位 10 項目）

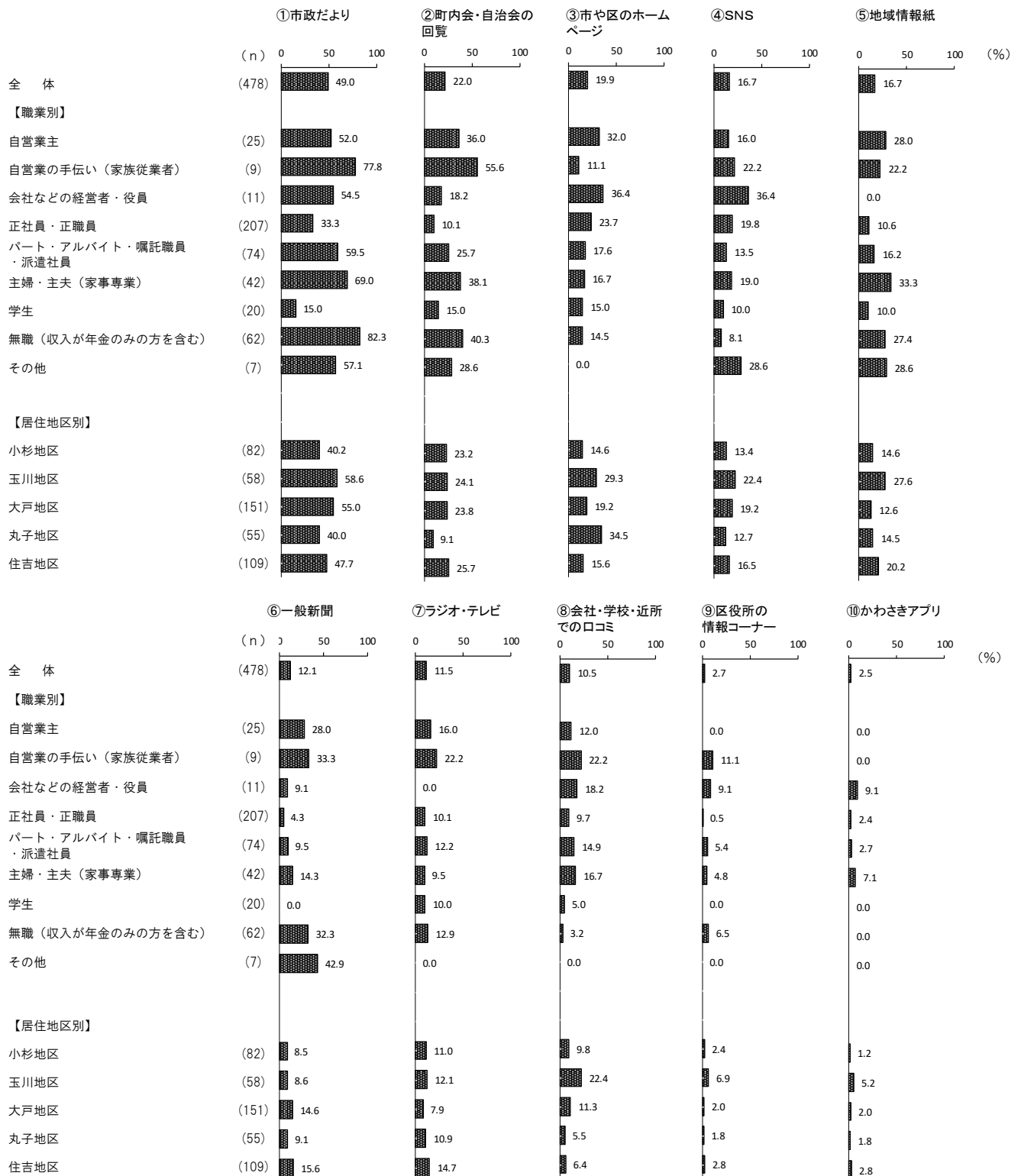


職業別にみると、「正社員・正職員」は、「①市政だより」(33.3%)が3割半ばで、最も多い項目となっている。「学生」は、「①市政だより」(15.0%)、「②町内会・自治会の回覧」(15.0%)、「③市や区のホームページ」(15.0%)が1割半ばで、他の項目は1割半ばより少なくなっている。

居住地区別にみると、「②町内会・自治会の回覧」は、丸子地区(9.1%)が他の地区よりも少なく、「⑧会社・学校・近所での口コミ」は、玉川地区(22.4%)が他の地区の2倍以上となっている。

(図表2-1-4)

図表2-1-4 行政・地域情報の入手方法—職業別・居住地区別(上位10項目)



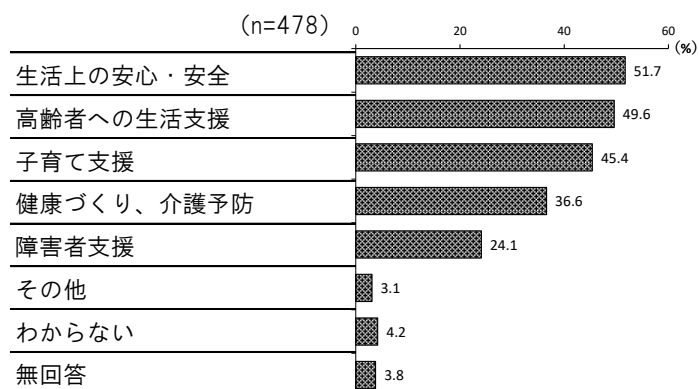
3 地域包括ケアシステム

(1) 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと

問4 川崎市では、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたが地域包括ケアシステムによって取り組むべきだと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

地域包括ケアシステムによって取り組むべきだと思うものを聞いたところ、「生活上の安心・安全」(51.7%)が5割超で最も多く、次いで「高齢者への生活支援」(49.6%)、「子育て支援」(45.4%)、「健康づくり、介護予防」(36.6%)となっている。(図表3-1-1)

図表3-1-1 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと

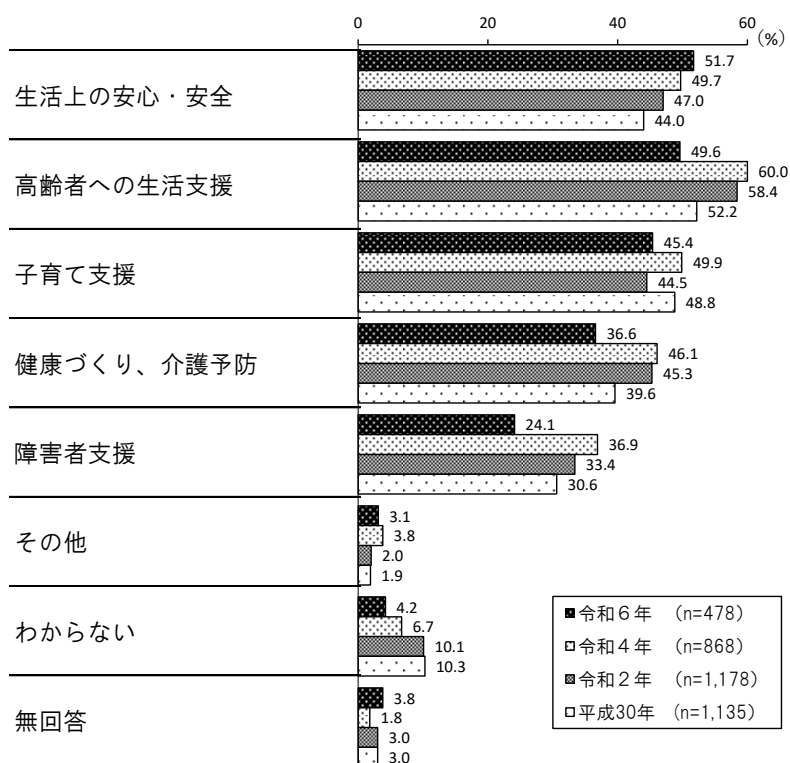


前回の調査と比較すると、「生活上の安心・安全」（51.7%）が2.0ポイント増加している。一方、「生活上の安心・安全」、「無回答」を除いた項目の割合は減少しており、「高齢者への生活支援」（49.6%）が10.4ポイント、「障害者支援」（24.1%）が12.8ポイント減少している。

多い順でみると、前回調査で3番目に多かった「生活上の安心・安全」が今回調査では1番多くなり、前回調査で1番多かった「高齢者への生活支援」が2番目で、順位が入れ替わっている。

（図表3－1－2）

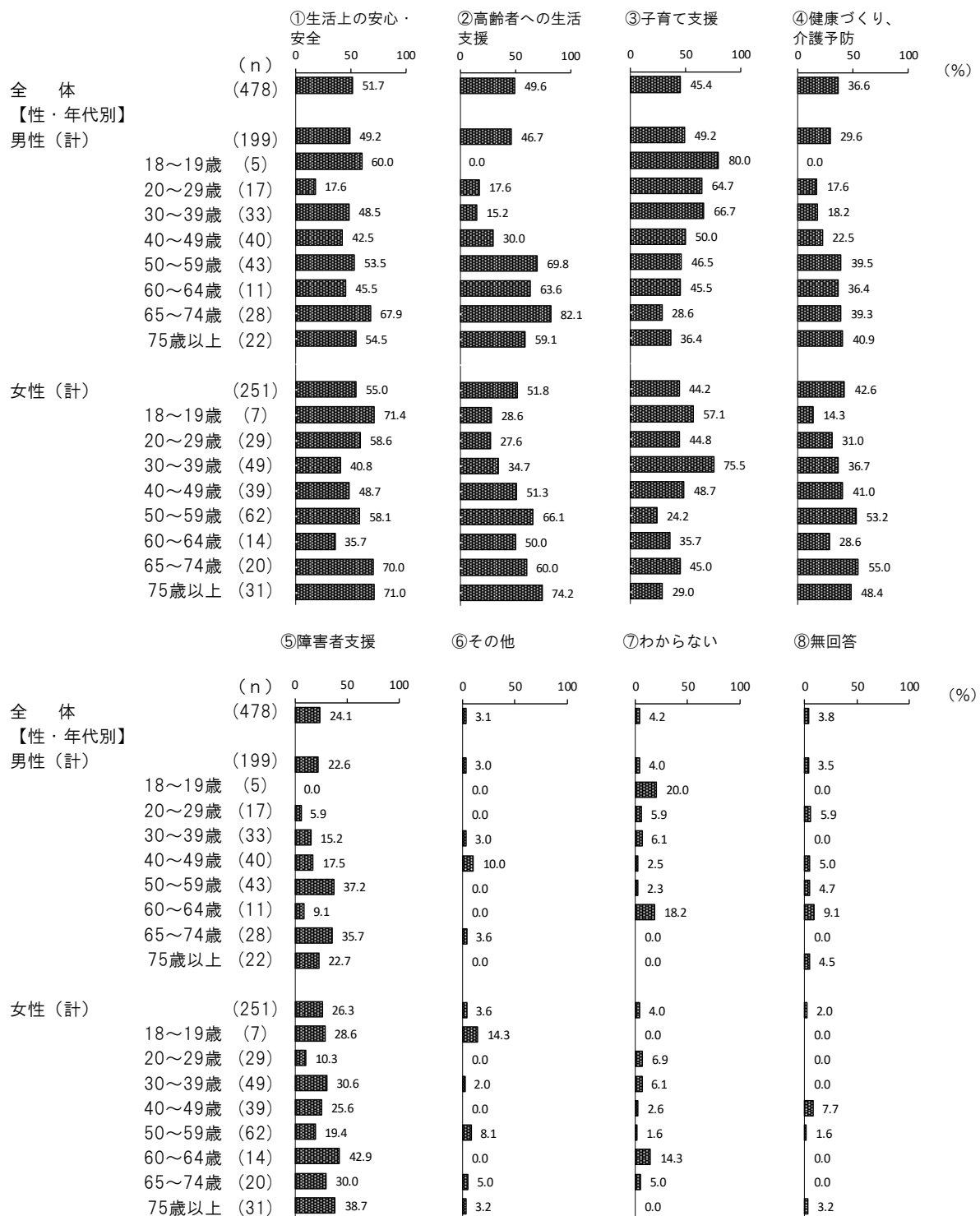
図表3－1－2 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと－過去の調査との比較



性・年代別にみると、「②高齢者への生活支援」は、男性 65～74 歳（82.1%）が 8 割超で、50～59 歳（69.8%）が 7 割近くと多くなっている。女性 75 歳以上（74.2%）が 7 割半ば、50～59 歳（66.1%）が 6 割半ばで多く、おおむね年代が上がるにつれて割合が多くなっている。

「③子育て支援」は、男性 30～39 歳（66.7%）が 6 割半ば、女性 30～39 歳（75.5%）が 7 割半ばで、おおむね年代が下がるにつれて割合が多くなっている。（図表 3－1－3）

図表 3－1－3 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと－性・年代別



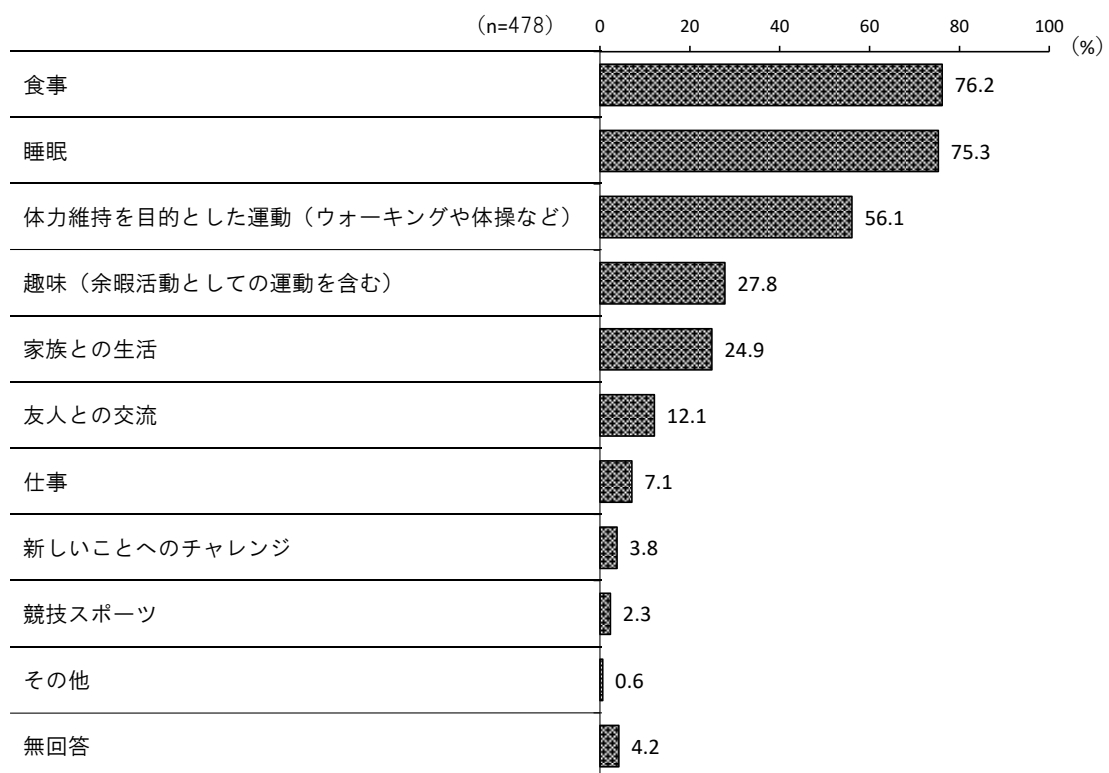
4 健康管理

(1) 健康管理について

問5 御自身の健康管理について伺います。あなたにとっての健康の秘訣（健康増進に大切なこと）は何ですか。重要なものから順に3つまで選んで、□の中に数字をご記入ください。

健康の秘訣（健康増進に大切なこと）を聞いたところ、「食事」（76.2%）及び「睡眠」（75.3%）が7割半ばで多く、次いで「体力維持を目的とした運動（ウォーキングや体操など）」（56.1%）が5割半ば、「趣味（余暇活動としての運動を含む）」（27.8%）、「家族との生活」（24.9%）となっている。（図表4-1-1）

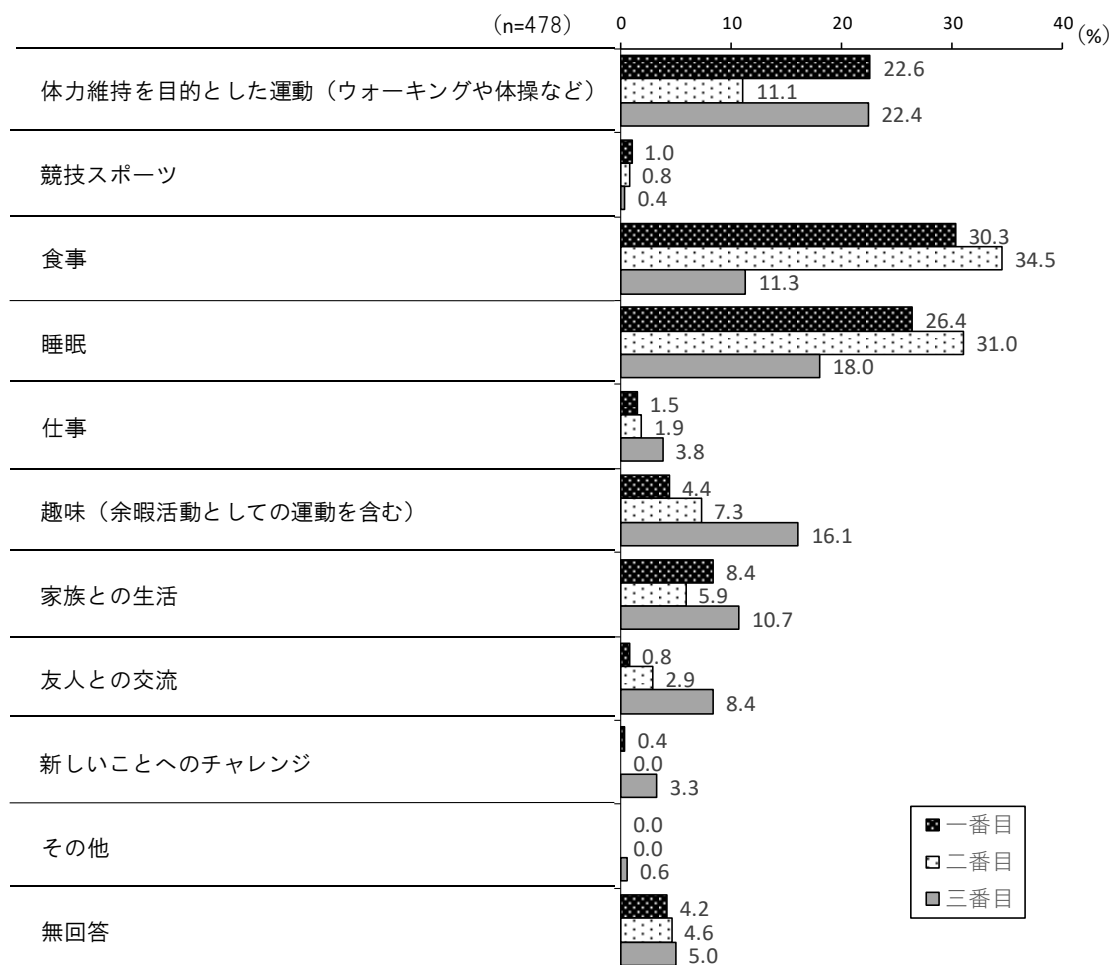
図表4-1-1 健康管理について－全体



※各項目の回答比率（%）については、一番目から三番目のいずれかで当該選択肢を選んだ人数の合計数から算出。「無回答」は、すべて「無回答」であった人数とした。

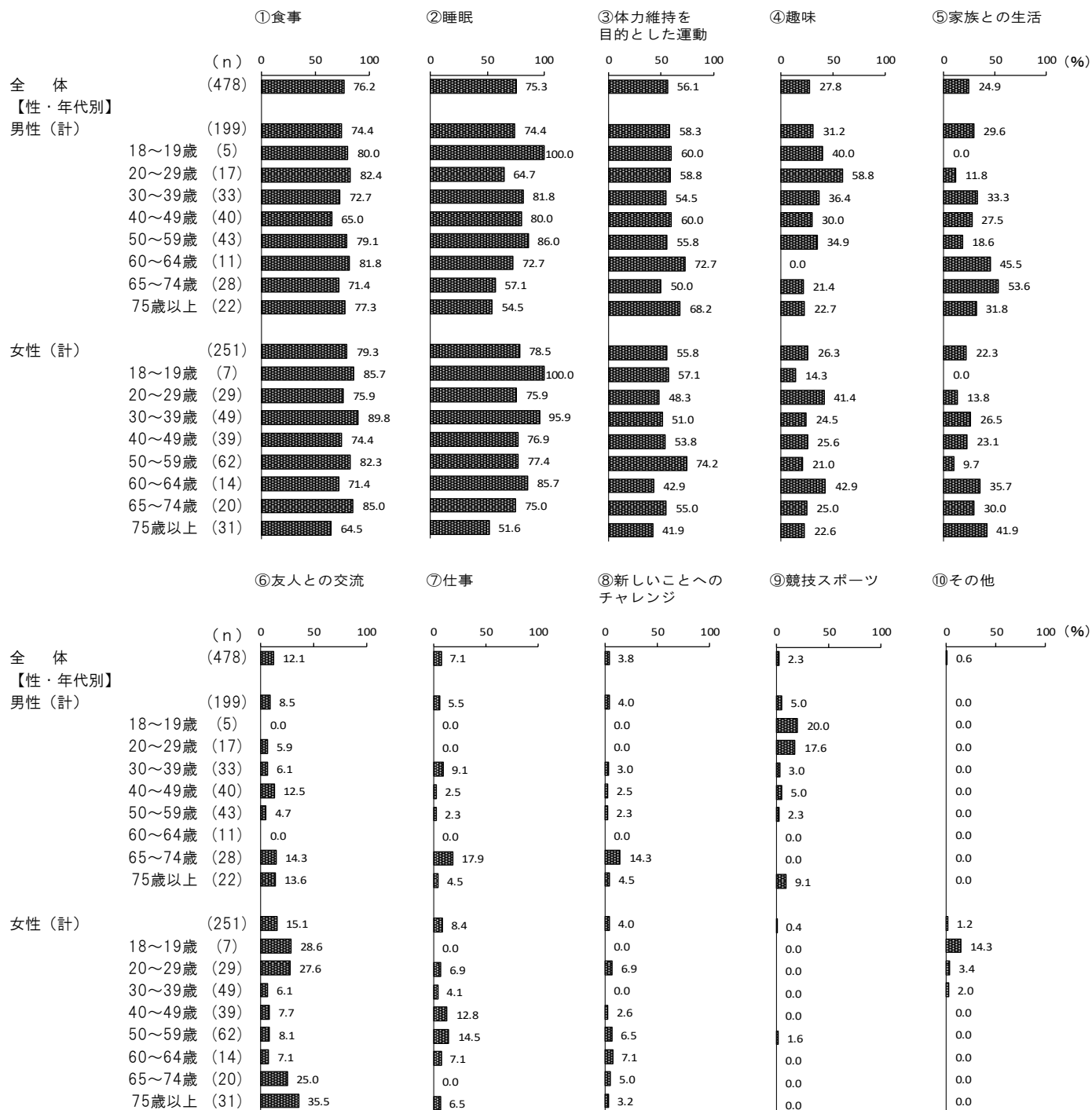
順位別にみると、一番目に重要だと思うことは、「食事」（30.3%）、「睡眠」（26.4%）、「体力維持を目的とした運動（ウォーキングや体操など）」（22.6%）の順となっている。二番目に重要だと思うことは、「食事」（34.5%）、「睡眠」（31.0%）、「体力維持を目的とした運動（ウォーキングや体操など）」（11.1%）の順となっており、上位3項目は一番目と同じ結果となっている。三番目に重要だと思うことは、体力維持を目的とした運動（ウォーキングや体操など）」（22.4%）、「睡眠」（18.0%）、「趣味（余暇活動としての運動を含む）」（16.1%）の順となっている。（図表4-1-2）

図表4-1-2 健康管理について一順位別



性・年代別にみると、「①食事」は、女性 30～39 歳（89.8%）が 9 割近く、「②睡眠」も女性 30～39 歳（95.9%）が 9 割半ば、「③体力維持を目的とした運動（ウォーキングや体操など）」は、女性 50～59 歳（74.2%）が 7 割半ば、男性 60～64 歳（72.7%）が 7 割超で多くなっている。（図表 4－1－3）

図表 4－1－3 健康管理について－性・年代別



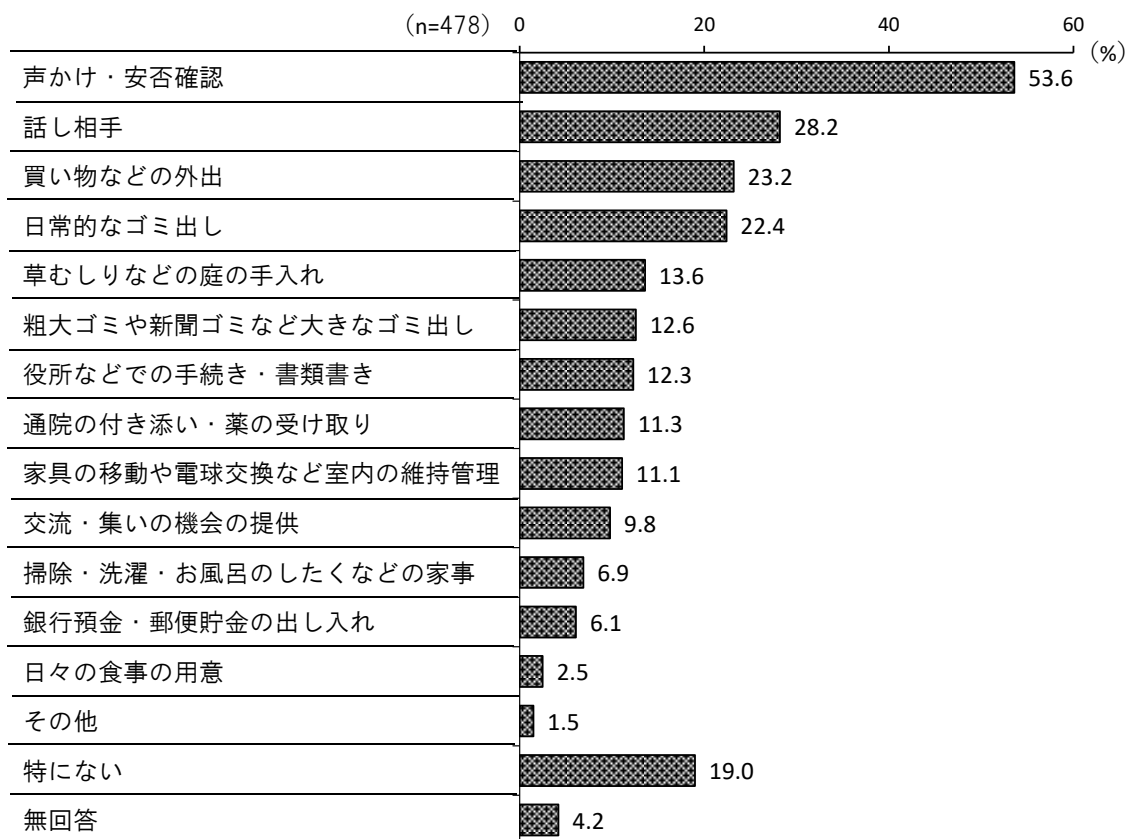
5 地域の支え合い

(1) 地域の支え合いに協力できること

問6 あなたが地域の支え合いに協力できることについて教えてください。(〇はいくつでも)

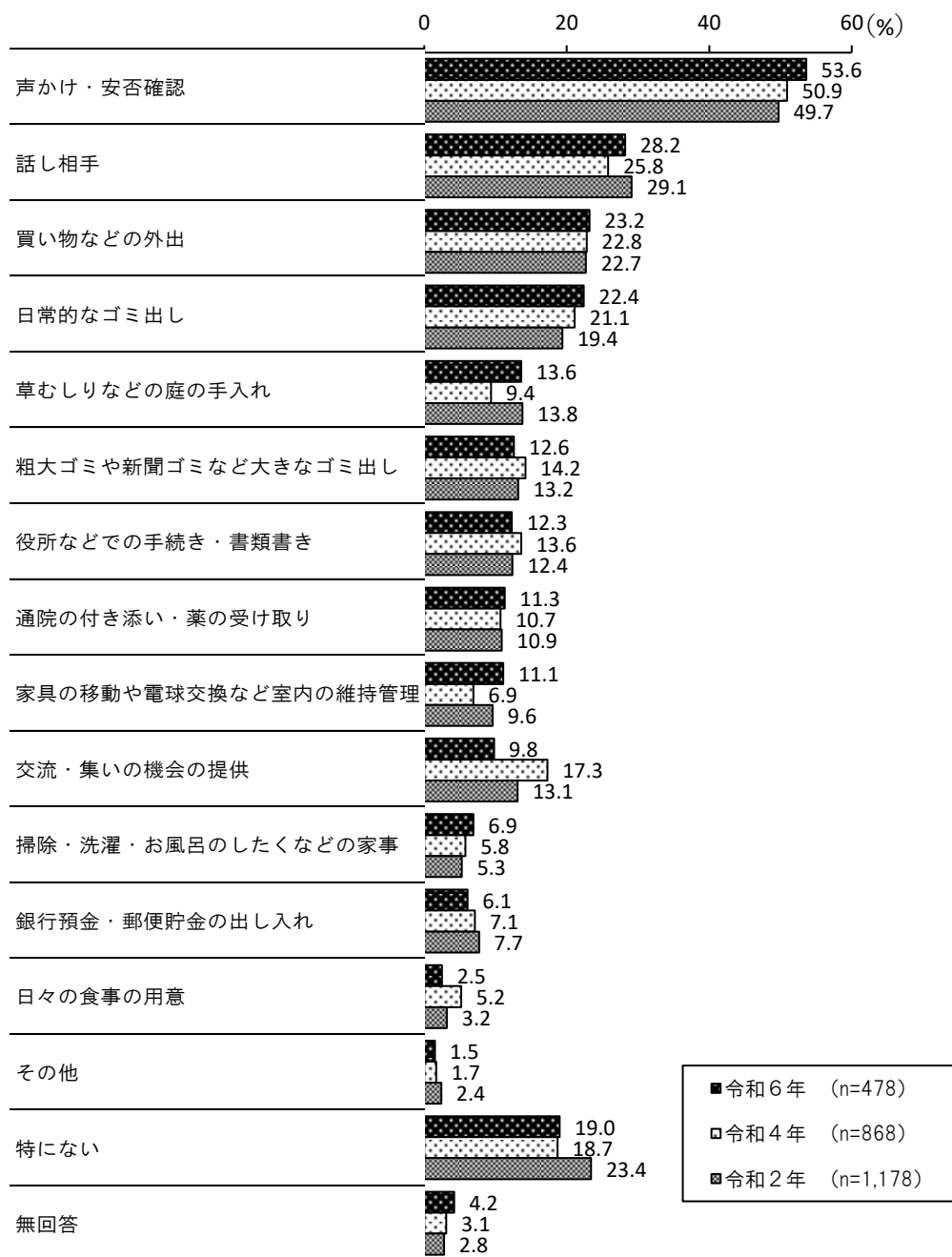
地域の支え合いに協力できることについて聞いたところ、「声かけ・安否確認」(53.6%)が5割半ばで最も多く、次いで「話し相手」(28.2%)、「買い物などの外出」(23.2%)、「日常的なゴミ出し」(22.4%)となっている。一方、「特にない」(19.0%)は2割近くとなっている。(図表5-1-1)

図表5-1-1 地域の支え合いに協力できること



前回の調査と比較すると、「草むしりなどの庭の手入れ」（13.6%）及び「家具の移動や電球交換など室内の維持管理」（11.1%）が4.2ポイント増加している。一方、「交流・集いの機会の提供」（9.8%）が7.5ポイント減少している。（図表5－1－2）

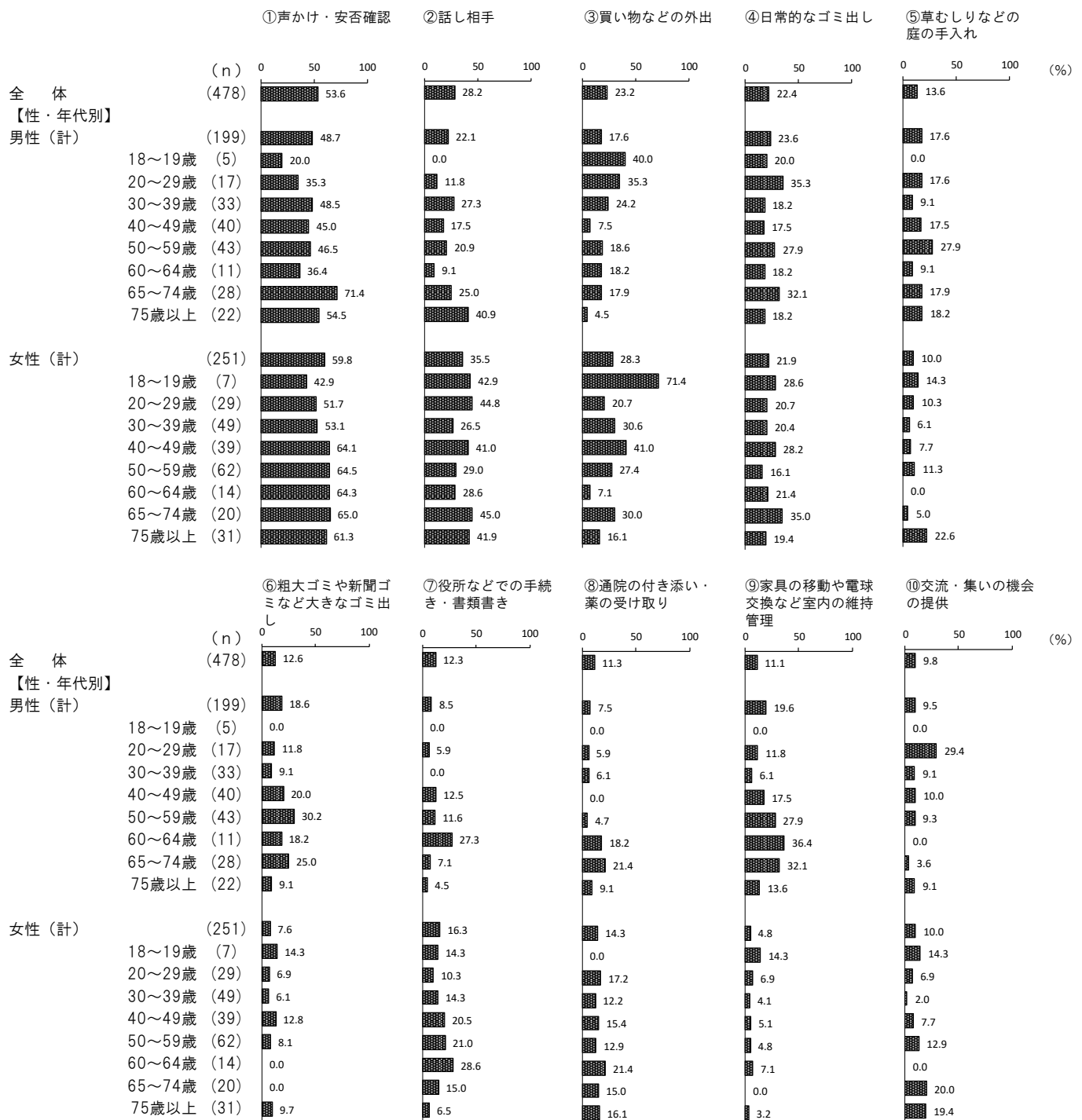
図表5－1－2 地域の支え合いに協力できること－過去の調査との比較



性・年代別にみると、「①声かけ・安否確認」は、女性（59.8%）が男性（48.7%）より 11.1 ポイント多く、男性 65～74 歳（71.4%）が 7 割超、女性 65～74 歳（65.0%）が 6 割半ばで多くなっている。「②話し相手」は、女性 65～74 歳（45.0%）が 4 割半ば、「⑨家具の移動や電球交換など室内の維持管理」は、男性 60～64 歳（36.4%）が 3 割半ば、男性 65～74 歳（32.1%）が 3 割超で多くなっている。

（図表 5－1－3）

図表 5－1－3 地域の支え合いに協力できること－性・年代別（上位 10 項目）

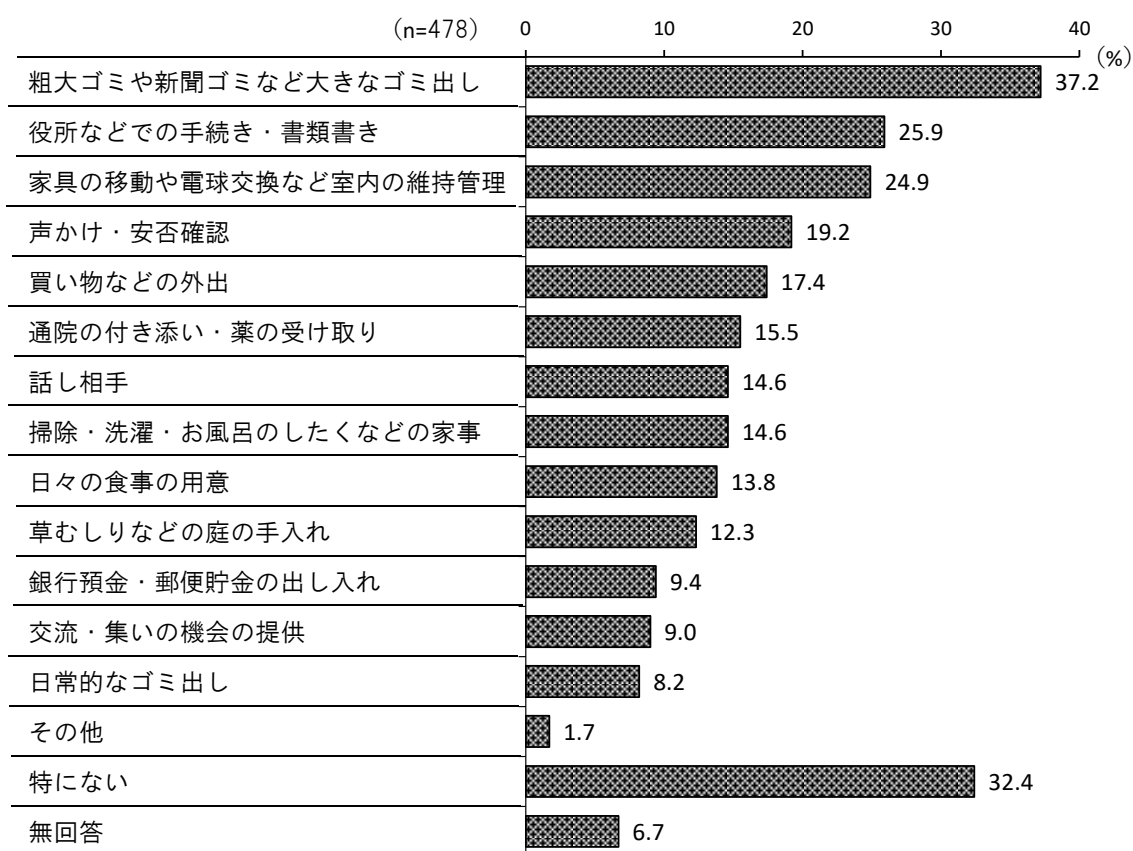


（２）日常生活で困っていること、将来困るだろうと思うこと

問７ 下記であげる項目について、あなたが日常生活で困っていること、または将来困るだろうと思うことを教えてください。（○はいくつでも）

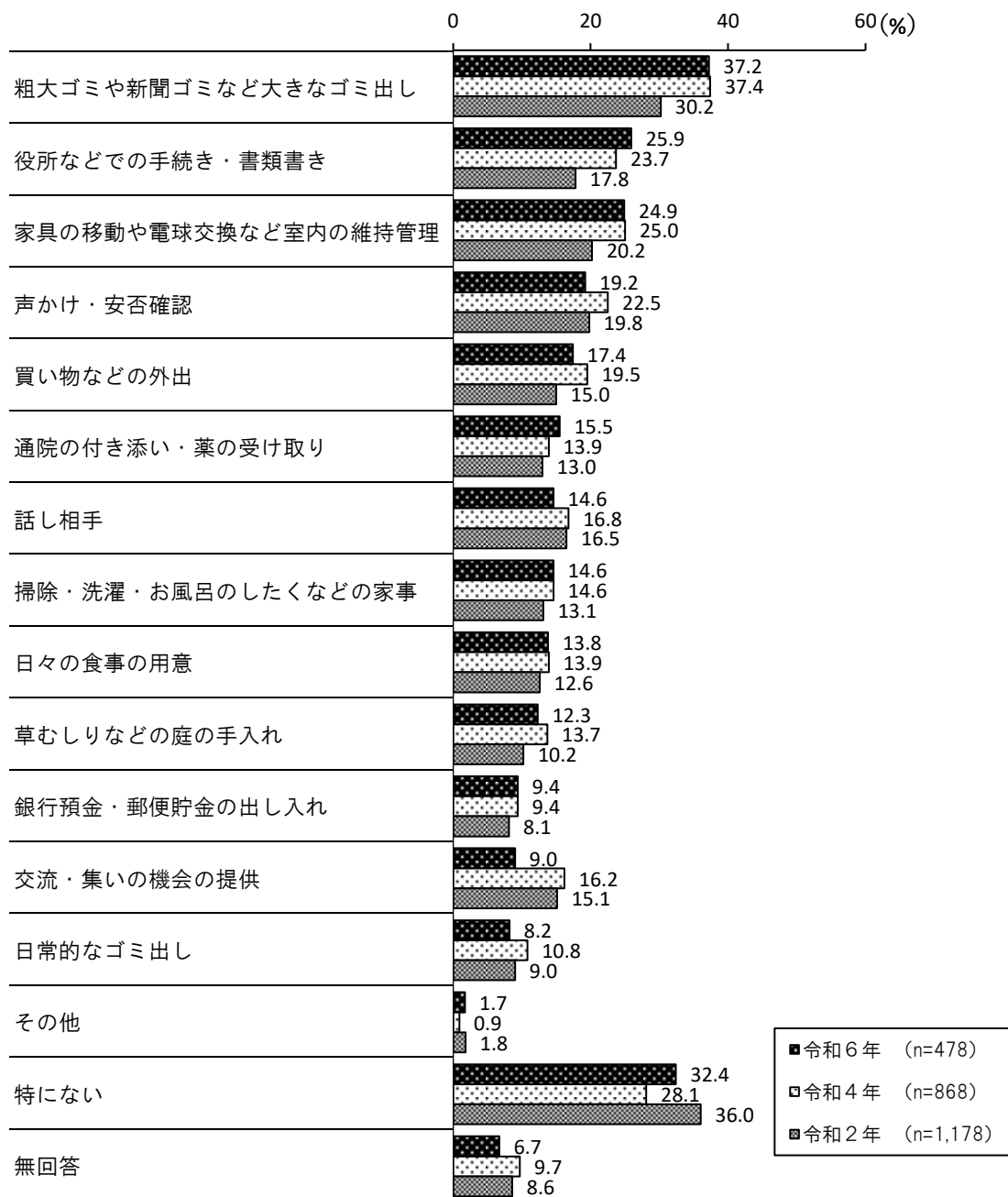
日常生活で困っていること、または将来困るだろうと思うことを聞いたところ、「粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し」(37.2%)が４割近くで最も多く、次いで「役所などでの手続き・書類書き」(25.9%)、「家具の移動や電球交換など室内の維持管理」(24.9%)、「声かけ・安否確認」(19.2%)となっている。一方、「特にない」(32.4%)は３割超となっている。（図表５－２－１）

図表５－２－１ 日常生活で困っていること、将来困るだろうと思うこと



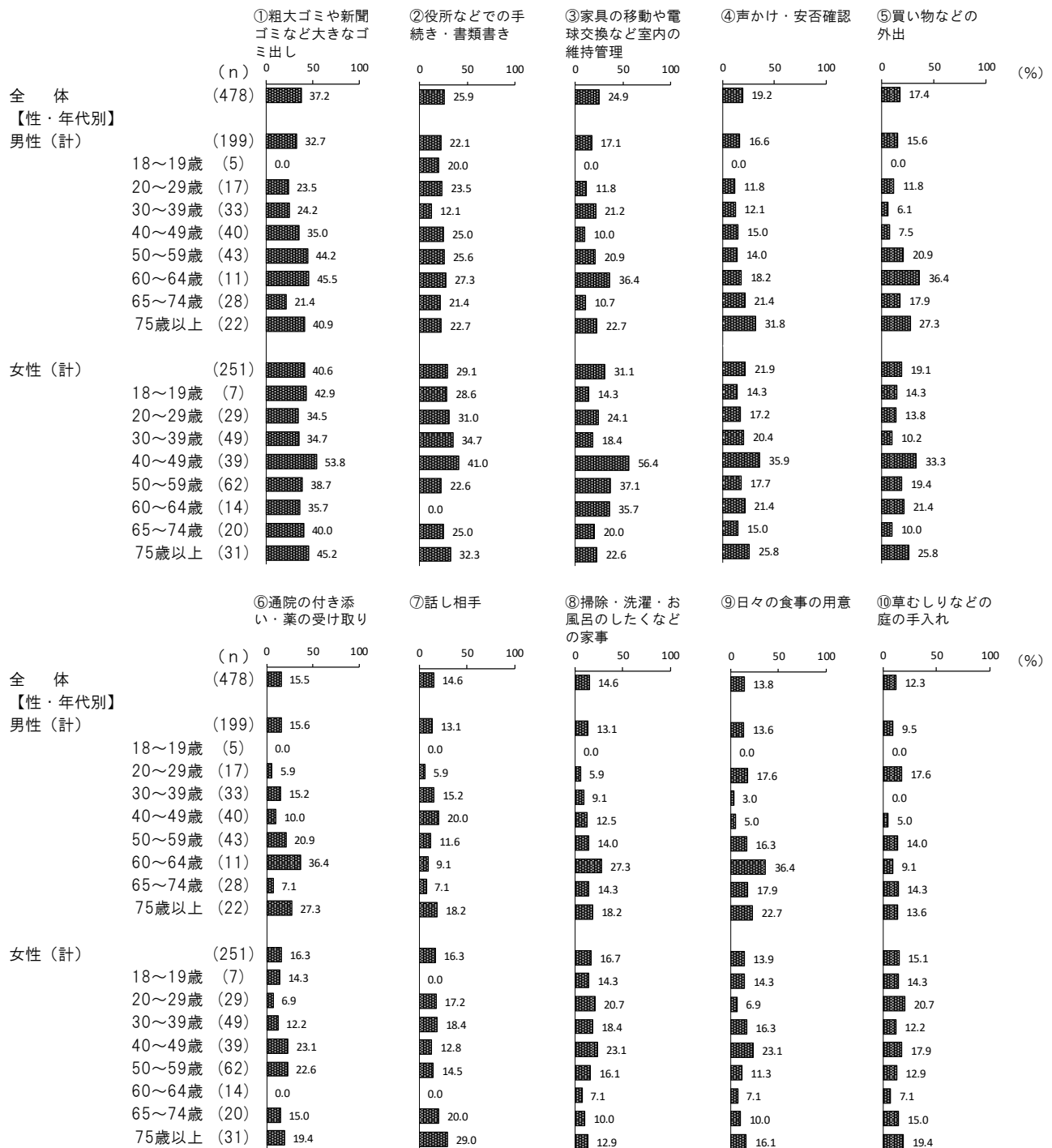
前回の調査と比較すると、「役所などでの手続き・書類書き」(25.9%)が2.2ポイント増加している。一方、「交流・集いの機会の提供」(9.0%)が7.2ポイント減少している。(図表5-2-2)

図表5-2-2 日常生活で困っていること、将来困るだろうと思うことー過去の調査との比較



性・年代別にみると、「①粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し」は、男性 60～64 歳（45.5%）が 4 割半ば、女性 40～49 歳（53.8%）が 5 割半ば、「②役所などでの手続き・書類書き」は、女性 40～49 歳（41.0%）が 4 割超、「③家具の移動や電球交換など室内の維持管理」は、女性 40～49 歳（56.4%）が 5 割半ばで多くなっている。（図表 5－2－3）

図表 5－2－3 日常生活で困っていること、将来困るだろうと思うこと－性・年代別
（上位 10 項目）

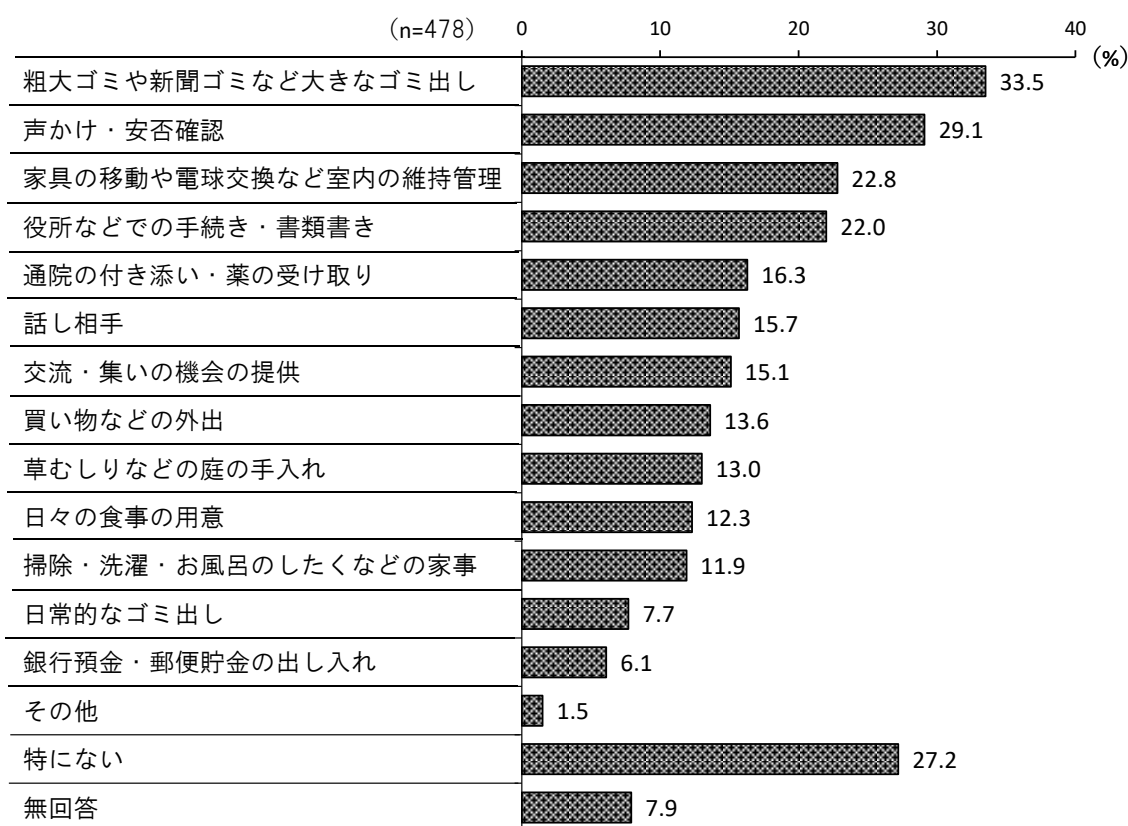


(3) 地域で支え合いを希望すること、将来的に頼みたいと思うこと

問8 下記であげる項目について、あなたが地域の支え合いを希望する、または将来的には頼みたいと思うことについて教えてください。(○はいいくつでも)

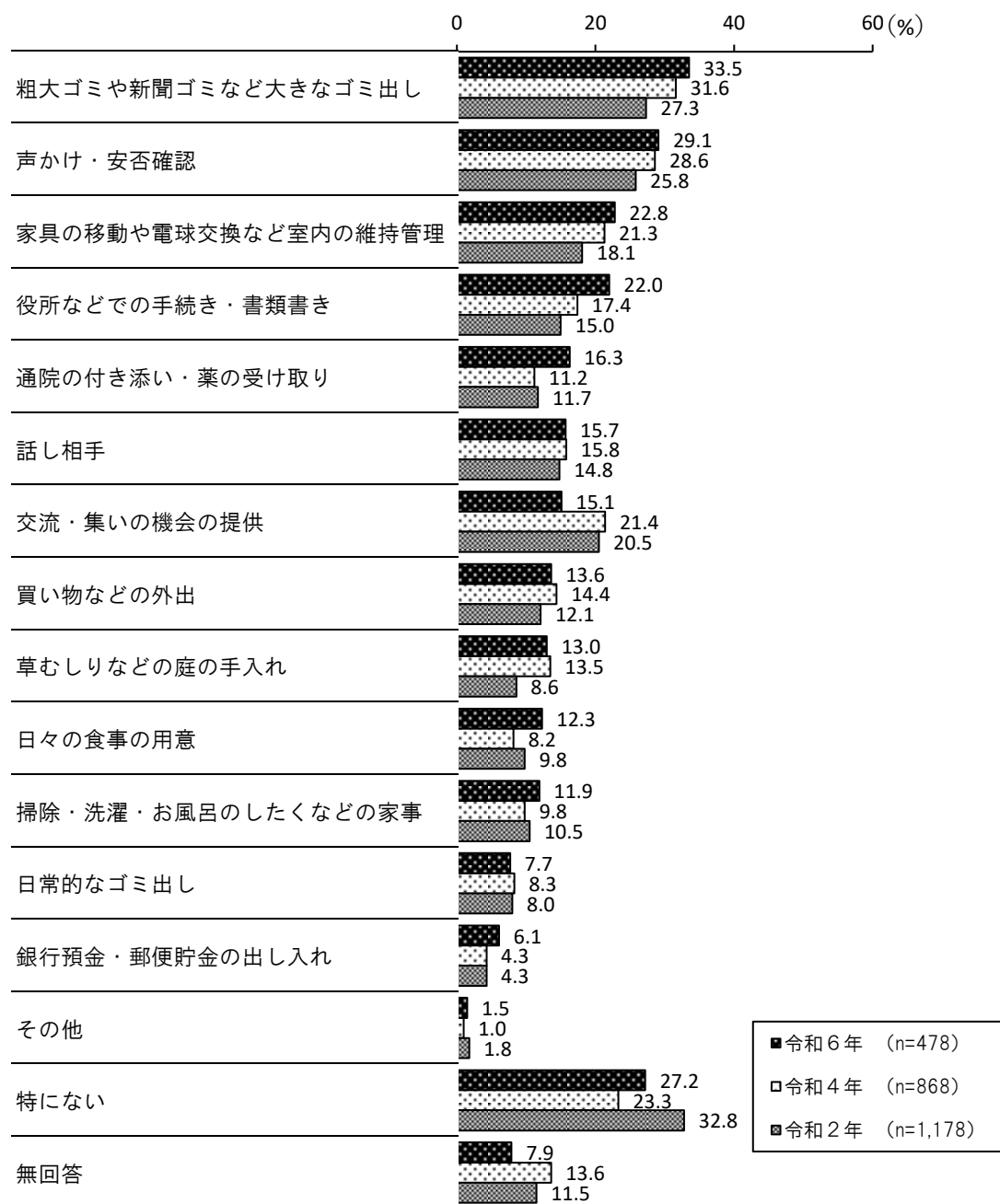
地域の支え合いを希望する、または将来的には頼みたいと思うことを聞いたところ、「粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し」(33.5%)が3割半ばで最も多く、次いで「声かけ・安否確認」(29.1%)、「家具の移動や電球交換など室内の維持管理」(22.8%)、「役所などでの手続き・書類書き」(22.0%)となっている。一方、「特にない」(27.2%)は3割近くとなっている。(図表5-3-1)

図表5-3-1 地域で支え合いを希望すること、将来的に頼みたいと思うこと



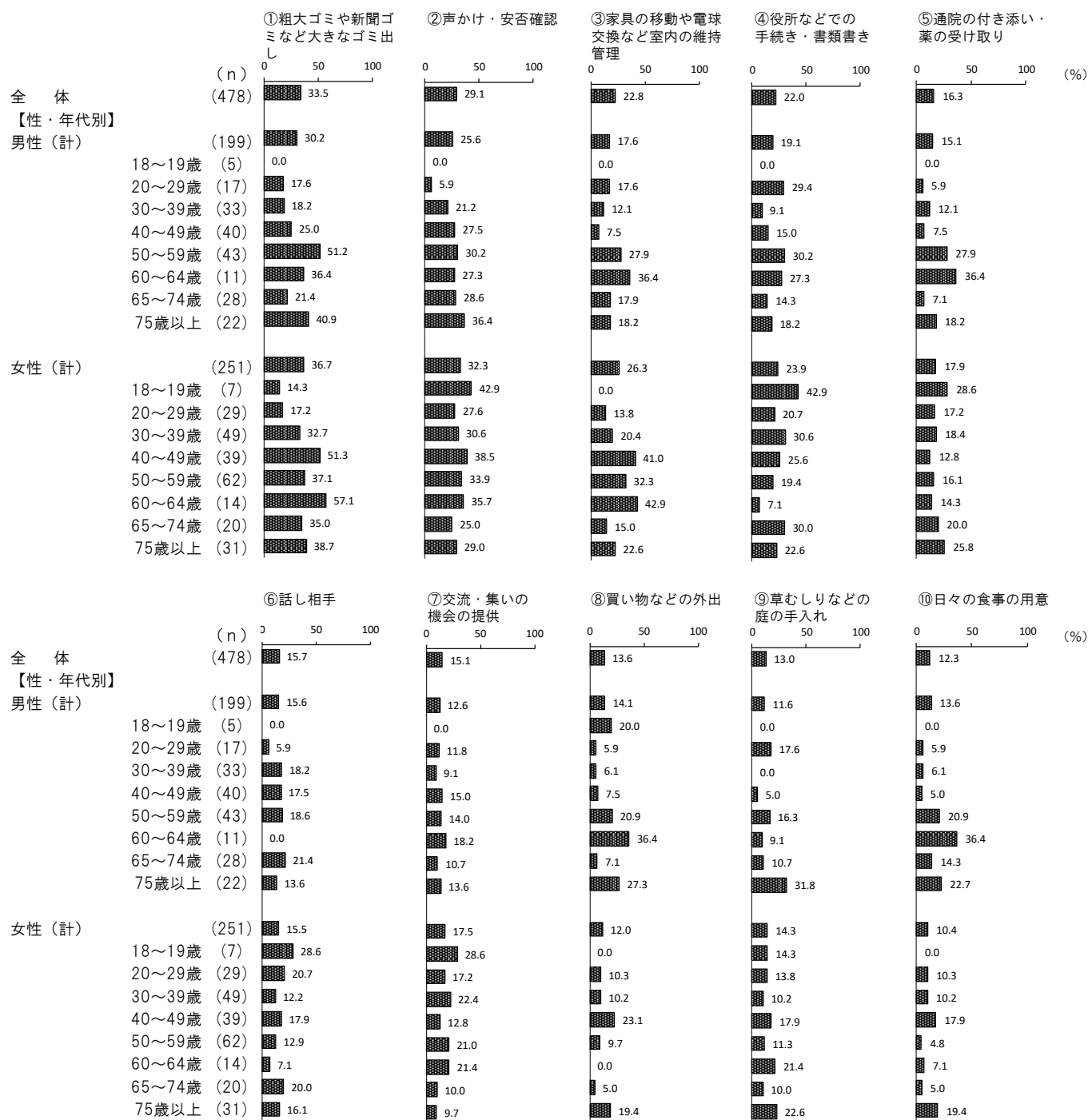
前回の調査と比較すると、「通院の付き添い・薬の受け取り」（16.3%）が5.1ポイント増加している。一方、「交流・集いの機会の提供」（15.1%）が6.3ポイント減少している。（図表5-3-2）

図表5-3-2 地域で支え合いを希望すること、将来的に頼みたいと思うことー過去の調査との比較



性・年代別にみると、「①粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し」は、女性 60～64 歳（57.1%）が 6 割近く、男性 50～59 歳（51.2%）が 5 割超で多くなっている。「②声かけ・安否確認」は、女性 40～49 歳（38.5%）が 4 割近く、「③家具の移動や電球交換など室内の維持管理」は、女性 60～64 歳（42.9%）が 4 割超で多くなっている。（図表 5－3－3）

図表 5－3－3 地域で支え合いを希望すること、将来的に頼みたいと思うこと－性・年代別
（上位 10 項目）



6 地域活動

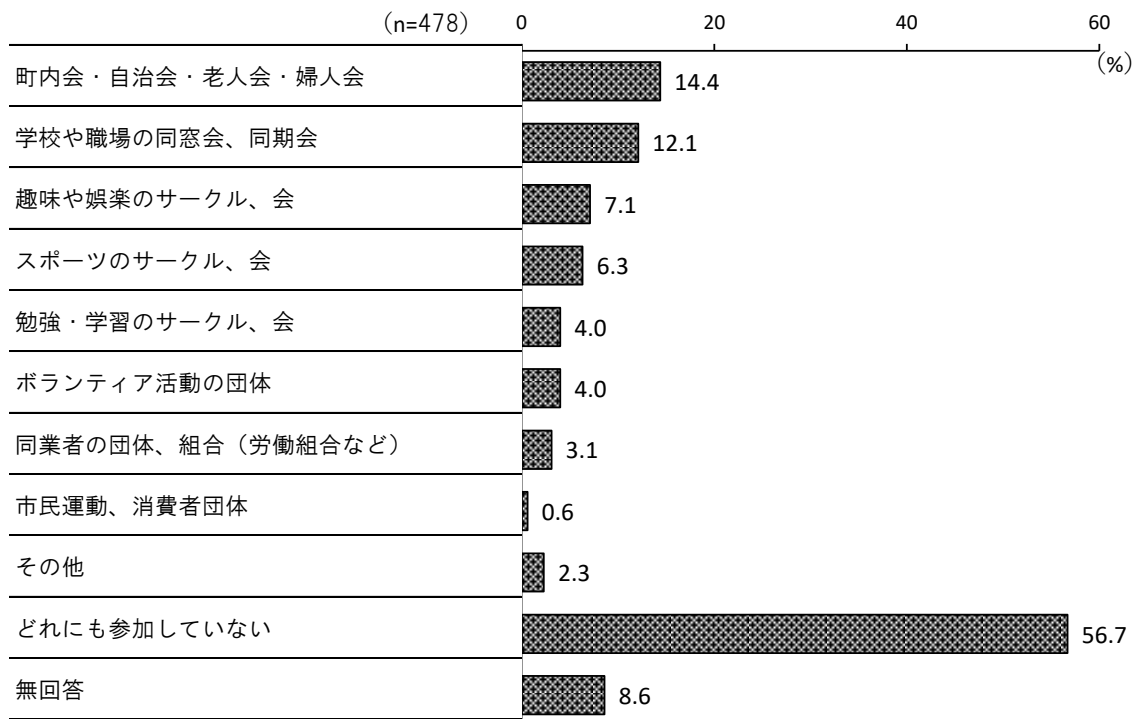
(1) 地域活動への参加状況

問9 現在、あなたは次にあげるような地域活動に参加していますか。(○はいくつでも)

どのような地域活動に参加しているか聞いたところ、「町内会・自治会・老人会・婦人会」(14.4%)が1割半ば、次いで「学校や職場の同窓会、同期会」(12.1%)、「趣味や娯楽のサークル、会」(7.1%)となっている。一方、「どれにも参加していない」(56.7%)は5割半ばとなっている。

(図表6-1-1)

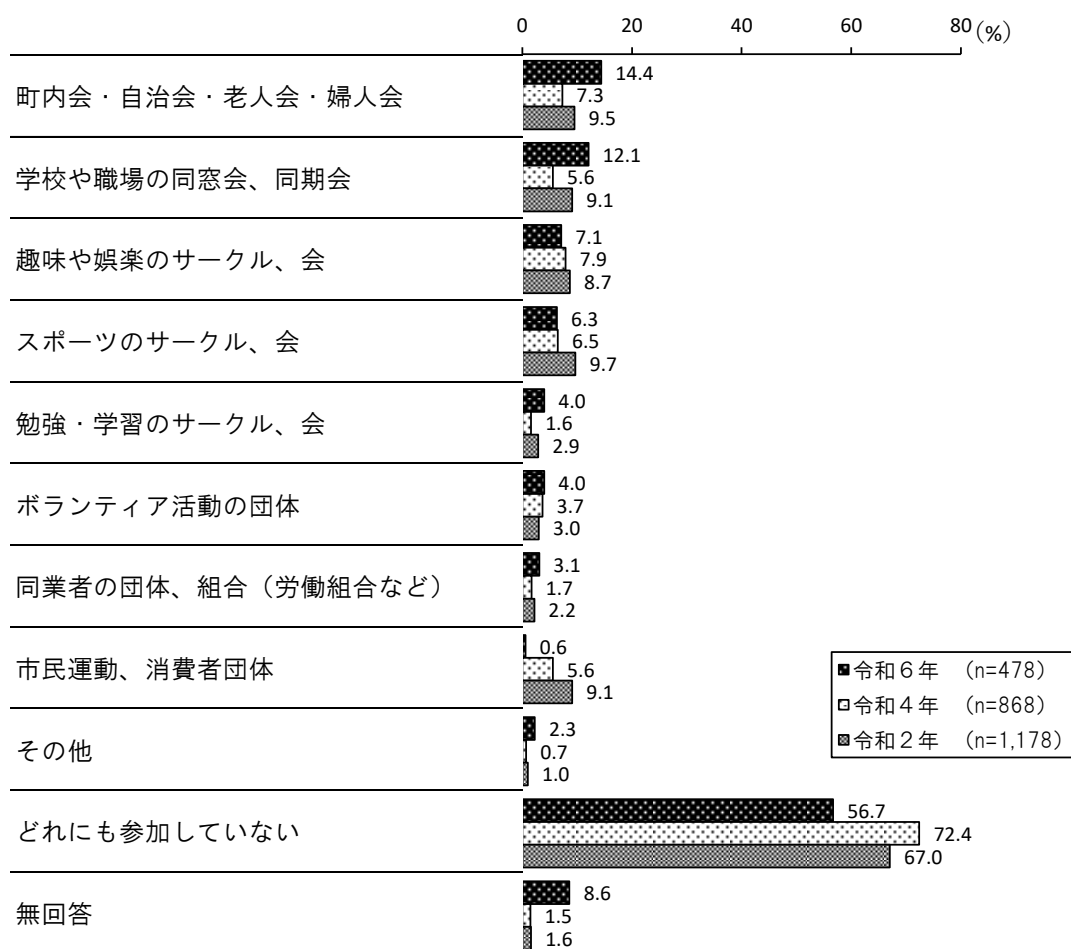
図表6-1-1 地域活動への参加状況



前回の調査と比較すると、「町内会・自治会・老人会・婦人会」（14.4%）が7.1ポイント、「学校や職場の同窓会、同期会」（12.1%）が6.5ポイント増加している。一方、「市民運動、消費者団体」（0.6%）が5.0ポイント、「どれにも参加していない」（56.7%）が15.7ポイント減少している。

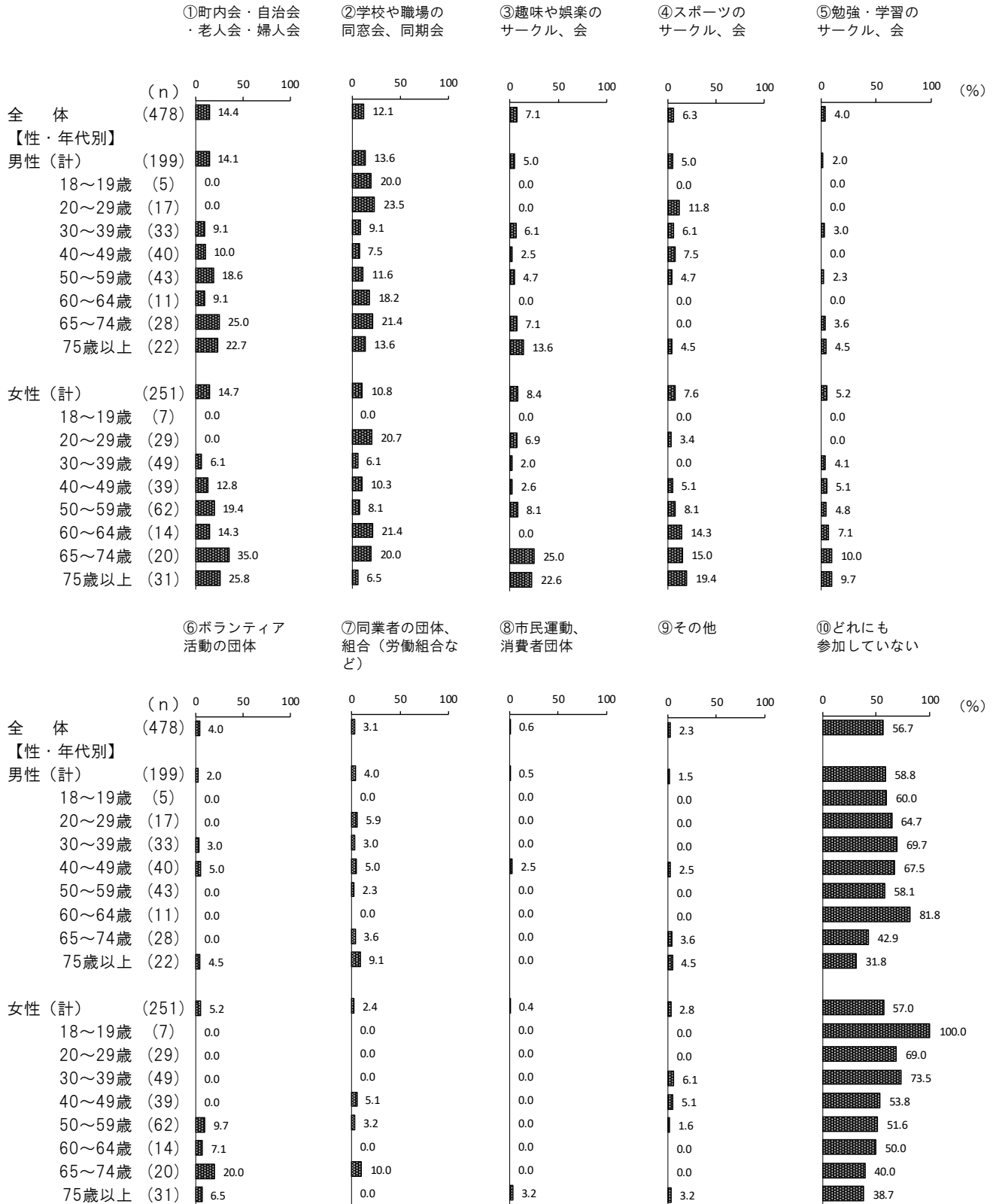
（図表 6－1－2）

図表 6－1－2 地域活動への参加状況－過去の調査との比較



女性 65～74 歳 (25.0%) が 2 割半ばで多くなっている。(図表 6-1-3)

図表 6-1-3 地域活動への参加状況一性・年代別



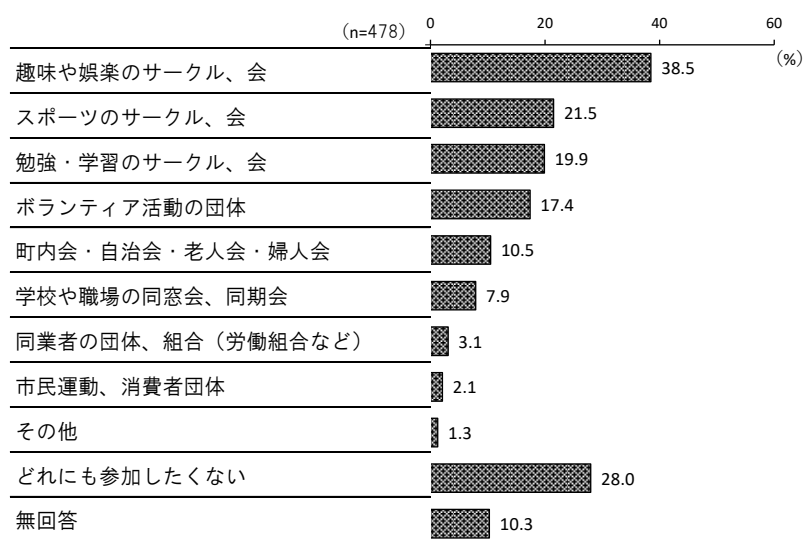
(2) 参加してみたい地域活動

問 10 あなたは、どのような地域活動であれば参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

どのような地域活動であれば参加したいかを聞いたところ、「趣味や娯楽のサークル、会」(38.5%)が4割近くで最も多く、次いで「スポーツのサークル、会」(21.5%)、「勉強・学習のサークル、会」(19.9%)となっている。一方、「どれにも参加したくない」(28.0%)が3割近くとなっている

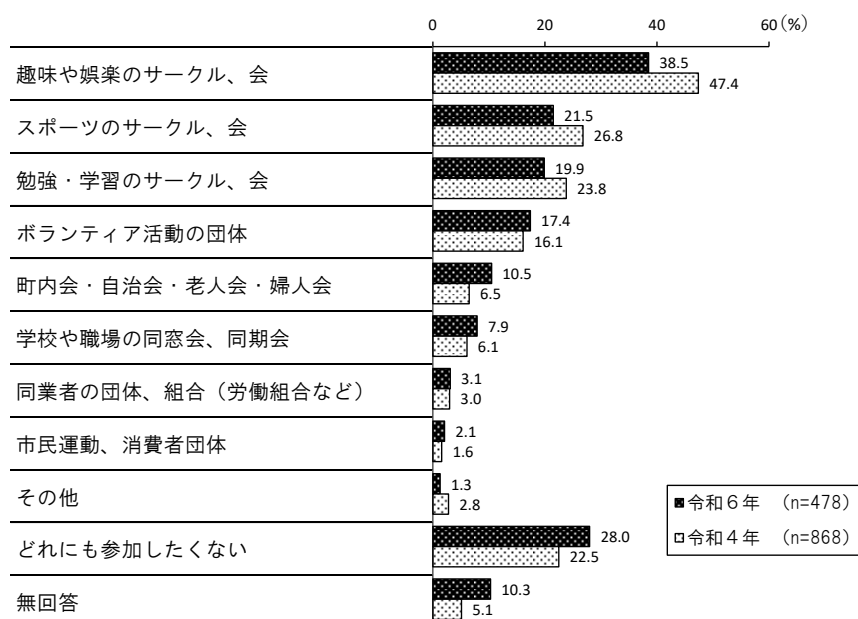
(図表6-2-1)

図表6-2-1 参加してみたい地域活動



前回の調査と比較すると、「どれにも参加したくない」(28.0%)が5.5ポイント増加している。一方、「趣味や娯楽のサークル、会」(38.5%)が8.9ポイント減少している。(図表6-2-2)

図表6-2-2 参加してみたい地域活動－前回の調査との比較



(図表 6-2-3)

Figure 1 displays the percentage of respondents participating in various activities across five categories. The categories are: ① Leisure and Entertainment, ② Sports, ③ Volunteering and Learning, ④ Volunteering Activities, and ⑤ Town/Village/Neighborhood Association, Elderly Association, and Women's Association. Each category has 20 sub-items. The x-axis represents the percentage from 0 to 100%.

Category	Sub-item	Percentage (%)
① 趣味や娯楽のサークル、会	1	38.5
	2	36.7
	3	40.0
	4	29.4
	5	30.3
	6	35.0
	7	44.2
	8	36.4
	9	25.0
	10	54.5
	11	41.0
	12	57.1
	13	34.5
	14	36.7
	15	59.0
	16	37.1
	17	42.9
	18	50.0
	19	29.0
	② スポーツのサークル、会	1
2		24.6
3		40.0
4		17.6
5		36.4
6		27.5
7		25.6
8		18.2
9		14.3
10		18.2
11		19.9
12		28.6
13		20.7
14		22.4
15		28.2
16		12.9
17		14.3
18		25.0
19		16.1
③ 勉強・学習のサークル、会		1
	2	18.1
	3	20.0
	4	11.8
	5	9.1
	6	15.0
	7	23.3
	8	18.2
	9	25.0
	10	22.7
	11	22.7
	12	14.3
	13	20.7
	14	18.4
	15	33.3
	16	21.0
	17	28.6
	18	25.0
	19	19.4
	④ バランティア活動の団体	1
2		14.1
3		0.0
4		11.8
5		6.1
6		17.5
7		16.3
8		36.4
9		14.3
10		9.1
11		20.3
12		14.3
13		20.7
14		22.4
15		20.5
16		21.0
17		35.7
18		25.0
19		6.5
⑤ 町内会・自治会・老人会・婦人会		1
	2	9.0
	3	0.0
	4	11.8
	5	12.1
	6	2.5
	7	7.0
	8	9.1
	9	10.7
	10	18.2
	11	11.6
	12	0.0
	13	3.4
	14	4.1
	15	15.4
	16	14.5
	17	7.1
	18	30.0
	19	12.9
	⑥ 学校や職場の同窓会、同期会	1
2		8.5
3		0.0
4		17.6
5		15.2
6		2.5
7		4.7
8		9.1
9		7.1
10		13.6
11		8.4
12		0.0
13		17.2
14		6.1
15		5.1
16		8.1
17		28.6
18		5.0
19		3.2
⑦ 同業者の団体、組合（労働組合など）		1
	2	4.5
	3	0.0
	4	5.9
	5	12.1
	6	5.0
	7	0.0
	8	0.0
	9	3.6
	10	4.5
	11	2.4
	12	0.0
	13	6.9
	14	4.1
	15	5.1
	16	0.0
	17	0.0
	18	0.0
	19	0.0
	⑧ 市民運動、消費者団体	1
2		2.0
3		0.0
4		5.9
5		0.0
6		5.0
7		2.3
8		0.0
9		0.0
10		0.0
11		2.0
12		14.3
13		3.4
14		2.0
15		2.6
16		0.0
17		0.0
18		0.0
19		

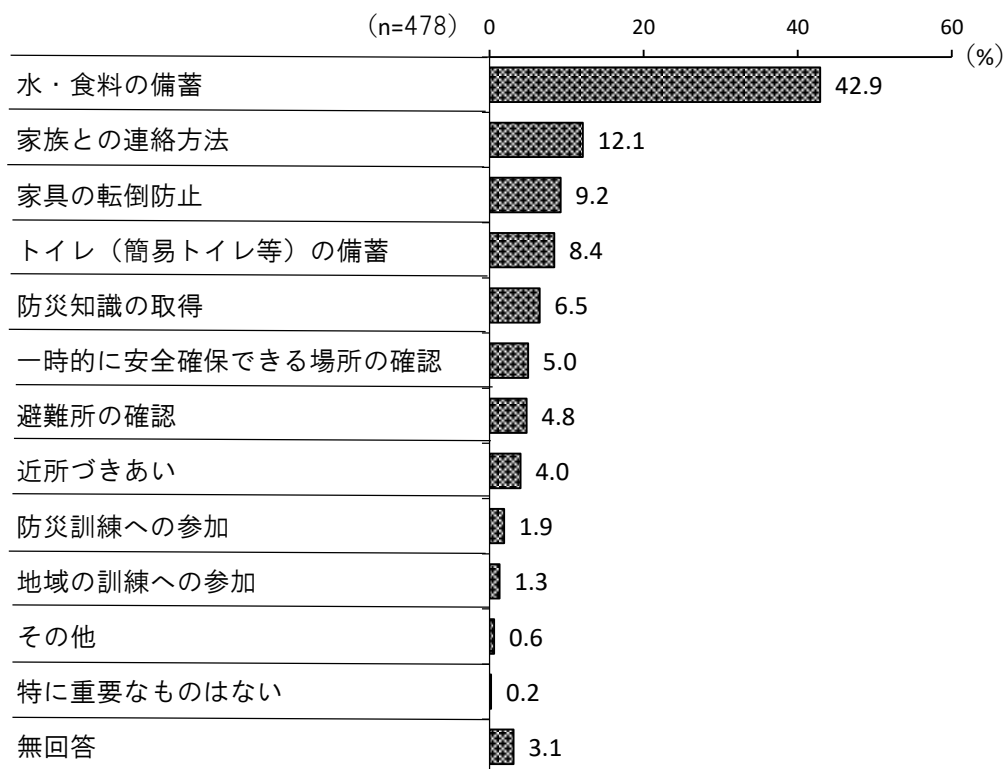
7 防災対策

(1) 災害に備えるための取組

問 11 あなたは、地震への備えとして一番重要だと思うものは何ですか。(○は1つだけ)

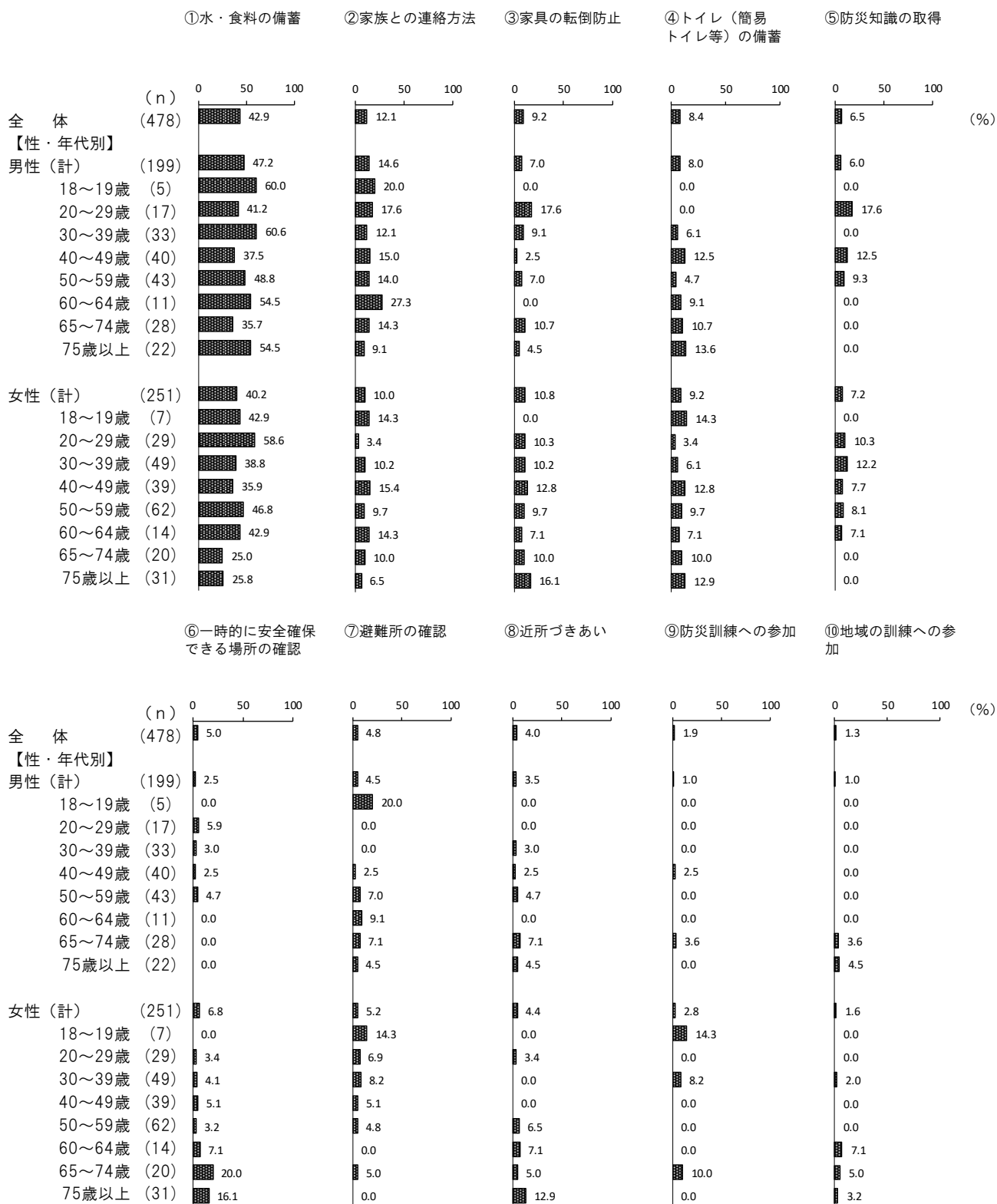
地震への備えとして一番重要だと思うものを聞いたところ、「水・食料などの備蓄」(42.9%)が4割超で最も多く、次いで「家族との連絡方法」(12.1%)、「家具の転倒防止」(9.2%)、「トイレ(簡易トイレ等)の備蓄」(8.4%)となっている。(図表 7-1-1)

図表 7-1-1 災害に備えるための取組



性・年代別にみると、「①水・食料の備蓄」は、男性 30～39 歳（60.6%）が 6 割超、女性 20～29 歳（58.6%）が 6 割近く、「②家族との連絡方法」は、男性 60～64 歳（27.3%）が 3 割近く、「③家具の転倒防止」は、男性 20～29 歳（17.6%）が 2 割近くで多くなっている。（図表 7－1－2）

図表 7－1－2 災害に備えるための取組－性・年代別（上位 10 項目）

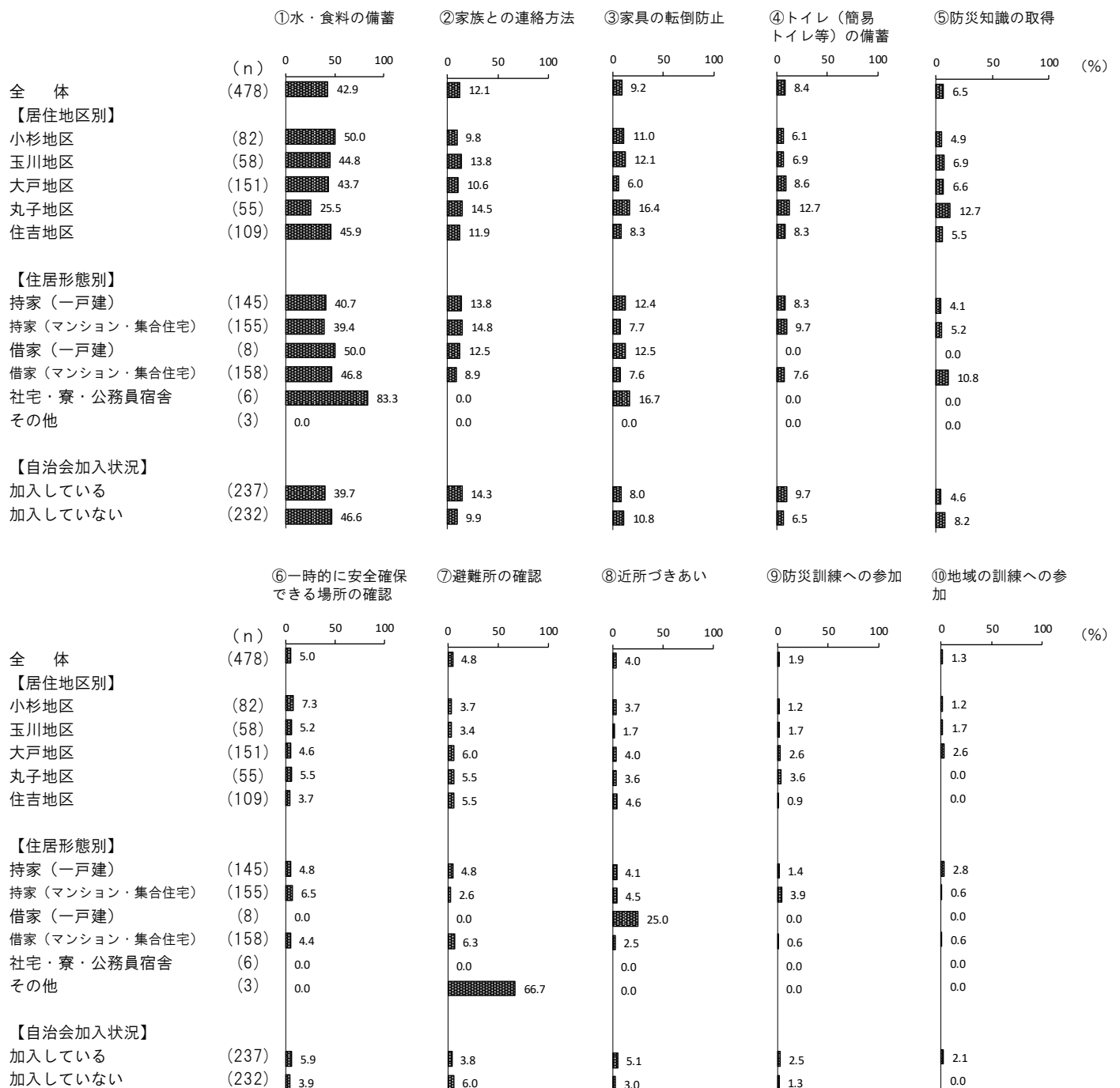


居住地区別にみると、「①水・食料の備蓄」は、小杉地区（50.0%）が5割、「②家族との連絡方法」は、丸子地区（14.5%）が1割半ば、「③家具の転倒防止」は、丸子地区（16.4%）が1割半ばで多くなっている。

住居形態別にみると、「①水・食料の備蓄」は、社宅・寮・公務員宿舎（83.3%）が8割半ば、「②家族との連絡方法」は、持家（マンション・集合住宅）（14.8%）、「③家具の転倒防止」は、社宅・寮・公務員宿舎（16.7%）が1割半ばで多くなっている。

自治会加入状況別にみると、「①水・食料の備蓄」は、加入していない（46.6%）が4割半ば、「②家族との連絡方法」は、加入している（14.3%）が1割半ばで多くなっている。（図表7-1-3）

図表7-1-3 災害に備えるための取組－居住地区別・住居形態別・自治会加入状況別（上位10項目）

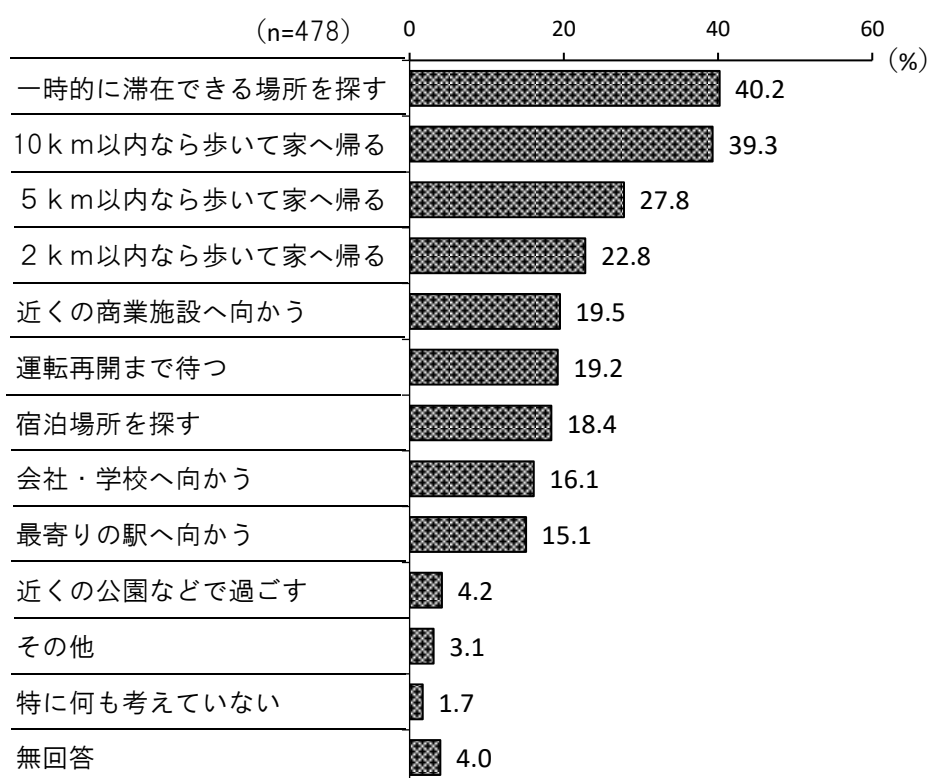


（２）災害時の交通機関が運休した場合の行動

問 12 あなたが中原区外へ外出していたときに地震などで交通機関が運休した場合、どのような行動をとりますか。（○はいくつでも）

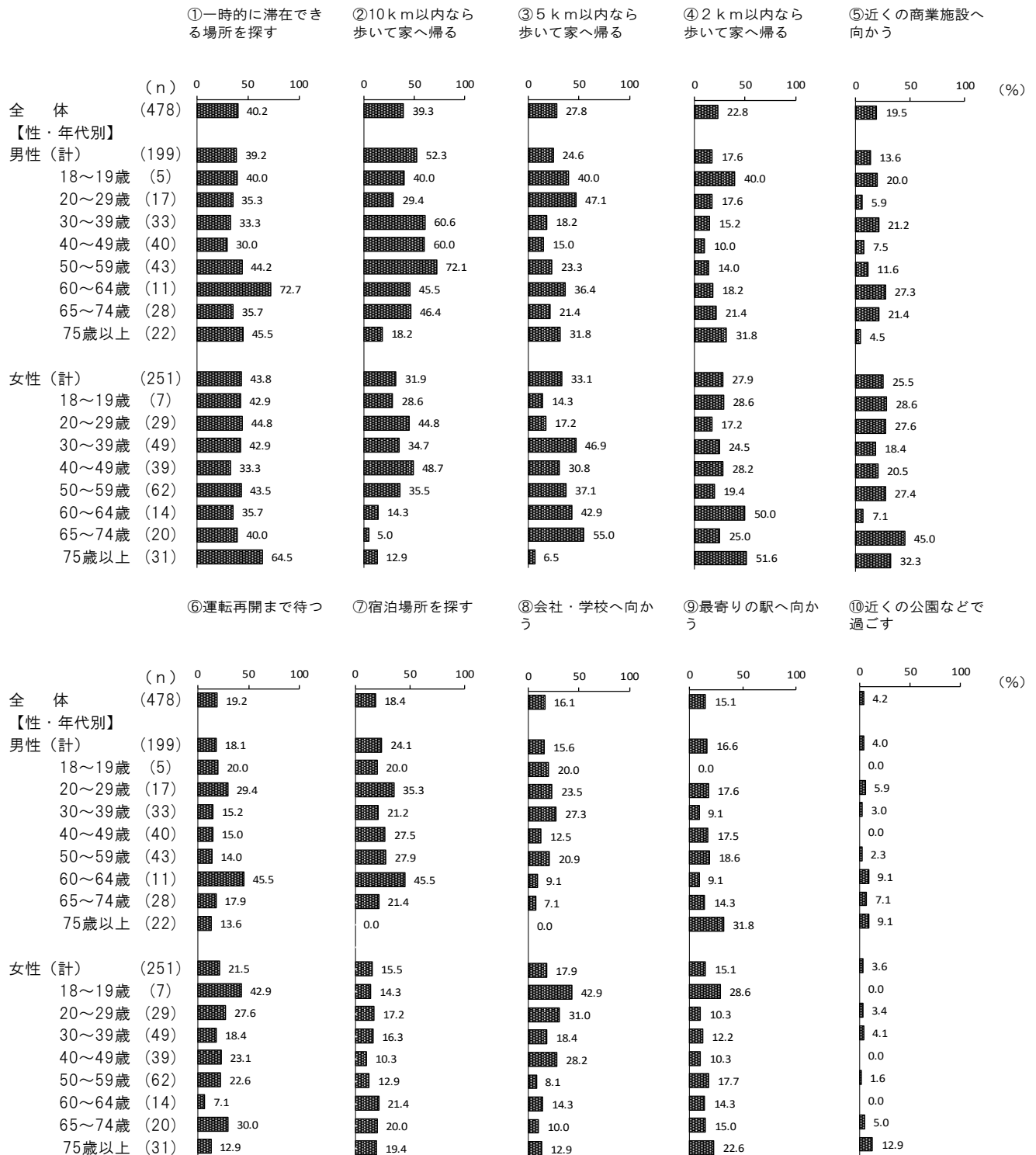
地震などで交通機関が運休した場合の行動を聞いたところ、「一時的に滞在できる場所を探す」（40.2%）が4割超で最も多く、次いで「10k m以内なら歩いて家へ帰る」（39.3%）も4割近く、「5 k m以内なら歩いて家へ帰る」（27.8%）となっている。（図表 7－2－1）

図表 7－2－1 災害時の交通機関が運休した場合の行動



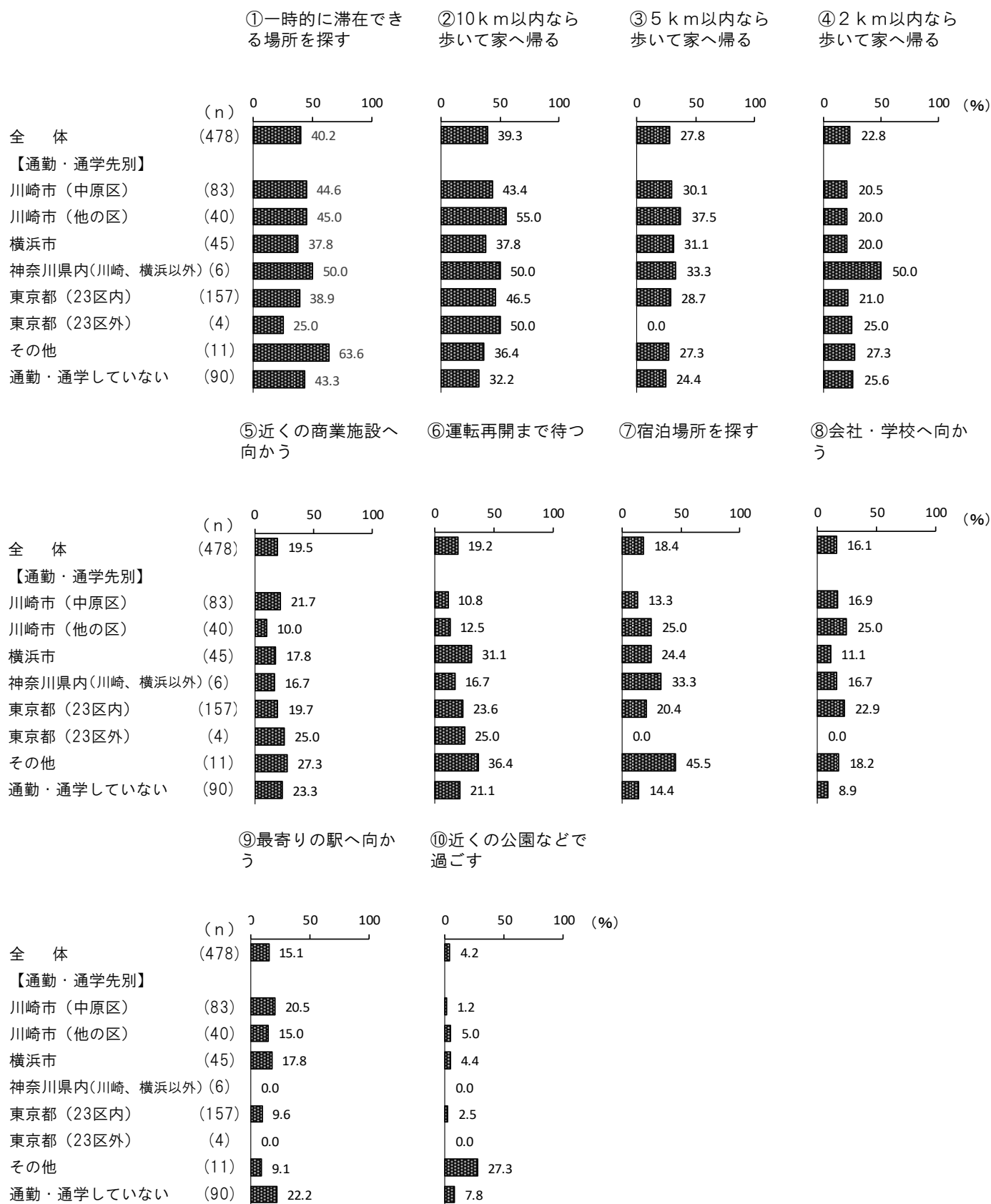
性・年代別にみると、「①一時的に滞在できる場所を探す」は、男性 60～64 歳（72.7%）が 7 割超、女性 75 歳以上（64.5%）が 6 割半ばで多くなっている。「②10 k m 以内なら歩いて家へ帰る」は、男性 50～59 歳（72.1%）が 7 割超、「③ 5 k m 以内なら歩いて家へ帰る」は女性 65～74 歳（55.0%）が 5 割半ばで多くなっている。（図表 7-2-2）

図表 7-2-2 災害時の交通機関が運休した場合の行動一性・年代別（上位 10 項目）



通勤・通学先別にみると、「①一時的に滞在できる場所を探す」は、その他（63.6%）が6割半ば、「②10k m以内なら歩いて家へ帰る」は、川崎市（他の区）（55.0%）が5割半ば、「③5 k m以内なら歩いて家へ帰る」は、川崎市（他の区）（37.5%）が4割近くで多くなっている。（図表7－2－3）

図表7－2－3 災害時の交通機関が運休した場合の行動－通勤・通学先別（上位10項目）



8 自由意見

問 13 その他「中原区のここが好き」、「日頃のお困りごと」等を、御自由に御記入ください。

「生活環境（住みやすさ等）について」（144 件）が最も多く、次いで「交通ルールやマナーについて」（67 件）、「公園・緑地・河川・道路の整備等について」（52 件）となっている。

上位項目	件数
生活環境(住みやすさ等)について	144
交通ルールやマナーについて	67
公園・緑地・河川・道路の整備等について	52
バス・鉄道などの交通機関について	23
行政全般(災害対策、計画、制度等)について	17

Ⅲ 使用した調査票

中原区 区民アンケート

令和6年5月

問1 あなたは中原区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つだけ)

1. 1年未満
2. 1年～3年未満
3. 3年～5年未満
4. 5年～10年未満
5. 10年～20年未満
6. 20年～30年未満
7. 30年～40年
8. 40年以上

問2 あなたはこれからも中原区にお住まいになる予定ですか。(○は1つだけ)

1. これからも住んでいたい ⇒ 問2-1へ
2. できれば市内の他の区へ移りたい
3. できれば市外へ移りたい
4. わからない

問2-1（問2で、「1.これからも住んでいたい」と回答した方にお尋ねします）

あなたが中原区に住んでいたい主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

1. 通勤・通学の便が良いから
2. 買い物が便利だから
3. 住宅を購入したから
4. 子どもの教育のため
5. まわりの環境が良いから
6. 以前から住んでいるから
7. 近くに親戚や知人が住んでいるから
8. その他（ ）
9. 特にない

問3 ふだん、あなたは行政情報や地域情報を何から入手していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 市政だより | 8. ラジオ・テレビ |
| 2. 電話での問い合わせ | 9. 一般新聞 |
| 3. 区役所の情報コーナー | 10. 地域情報紙 |
| 4. 町内会・自治会の回覧 | 11. 会社・学校・近所での口コミ |
| 5. 市や区のホームページ | 12. その他 () |
| 6. かわさきアプリ | 13. 特にない |
| 7. SNS (X【旧:Twitter】、Facebook、Instagram、YouTube、LINE など) | |

問4 川崎市では、「地域包括ケアシステム*」の構築を進めています。あなたが地域包括ケアシステムによって取り組むべきだと思うものは何ですか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 高齢者への生活支援 | 5. 生活上の安心・安全 |
| 2. 健康づくり、介護予防 | 6. その他 () |
| 3. 子育て支援 | 7. わからない |
| 4. 障害者支援 | |

***地域包括ケアシステムとは**

高齢者が増えていくことや子どもが少なくなっていく中で、病気になったり、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる仕組みをつくることです。この取組を進めるには、市民や事業者、地域・ボランティア団体、行政など、地域全体でそれぞれが適切な役割分担により、取り組むことが大切です。川崎市では、子どもから高齢者まで、また、現時点でケアの必要のない方なども含め「全ての地域住民」を対象としています。



【市ホームページ「川崎版地域包括ケアシステムの構築に向けて」】

問5 御自身の健康管理について伺います。あなたにとっての健康の秘訣（健康増進に大切なと思うこと）は何ですか。

重要なものから順に3つまで選んで、□の中に数字をご記入ください。

一番目 ☐ 二番目 ☐ 三番目 ☐

1. 体力維持を目的とした運動 (ウォーキングや体操など)	6. 趣味（余暇活動としての運動を含む）
2. 競技スポーツ	7. 家族との生活
3. 食事	8. 友人との交流
4. 睡眠	9. 新しいことへのチャレンジ
5. 仕事	10. その他（ ）

問6 あなたが地域の支え合いに協力できることについて教えてください。(○はいくつでも)

1. 声かけ・安否確認	9. 家具の移動や電球交換など室内の維持管理
2. 話し相手	10. 草むしりなどの庭の手入れ
3. 交流・集いの機会の提供	11. 通院の付き添い・薬の受け取り
4. 買い物などの外出	12. 役所などでの手続き・書類書き
5. 日常的なゴミ出し	13. 銀行預金・郵便貯金の出し入れ
6. 粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し	14. その他（ ）
7. 日々の食事の用意	15. 特にない
8. 掃除・洗濯・お風呂のしたくなどの家事	

問7 下記であげる項目について、あなたが日常生活で困っていること、または将来困るだろうと思うことを教えてください。(○はいくつでも)

問8 下記であげる項目について、あなたが地域の支え合いを希望する、または将来的には頼みたいと思うことについて教えてください。(○はいくつでも)

	問7 困っていること、または将来困るだろうと思うこと (○はいくつでも)	問8 地域の支え合いを希望する、または将来的には頼みたいと思うこと (○はいくつでも)
回答例 ⇒	①	①
(1) 声かけ・安否確認	1	1
(2) 話し相手	2	2
(3) 交流・集いの機会の提供	3	3
(4) 買い物などの外出	4	4
(5) 日常的なゴミ出し	5	5
(6) 粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し	6	6
(7) 日々の食事の用意	7	7
(8) 掃除・洗濯・お風呂のしたくなどの家事	8	8
(9) 家具の移動や電球交換など室内の維持管理	9	9
(10) 草むしりなどの庭の手入れ	10	10
(11) 通院の付き添い・薬の受け取り	11	11
(12) 役所などでの手続き・書類書き	12	12
(13) 銀行預金・郵便貯金のおし入れ	13	13
(14) その他()	14	14
(15) 特にない	15	15

問 9 現在、あなたは次にあげるような地域活動に参加していますか。(○はいくつでも)

問 10 あなたは、どのような地域活動であれば参加したいと思いますか。(○はいくつでも)

	問9	問 10
	現在参加している地域活動(○はいくつでも)	参加したいと思う地域活動(○はいくつでも)
回答例 ⇒	①	①
(1) 町内会・自治会・老人会・婦人会	1	1
(2) 趣味や娯楽のサークル、会	2	2
(3) スポーツのサークル、会	3	3
(4) 勉強・学習のサークル、会	4	4
(5) 学校や職場の同窓会、同期会	5	5
(6) 同業者の団体、組合(労働組合など)	6	6
(7) 市民運動、消費者団体	7	7
(8) ボランティア活動の団体	8	8
(9) その他()	9	9
	どれにも参加していない 10	どれにも参加したくない 10

問 11 あなたは、地震への備えとして一番重要だと思うものは何ですか。(○は1つだけ)

1. 家具の転倒防止	7. 防災訓練への参加
2. 水・食料の備蓄	8. 防災知識の取得
3. トイレ(簡易トイレ等)の備蓄	9. 地域の訓練への参加
4. 家族との連絡方法	10. 近所づきあい
5. 一時的に安全確保できる場所の確認	11. その他()
6. 避難所の確認	12. 特に重要なものはない

問12 あなたが中原区外へ外出していたときに地震などで交通機関が運休した場合、どのような行動をとりますか。(○はいくつでも)

1. 最寄りの駅へ向かう
2. 2 km以内なら歩いて家へ帰る
3. 5 km以内なら歩いて家へ帰る
4. 10 km以内なら歩いて家へ帰る
5. 近くの商業施設へ向かう
6. 会社・学校へ向かう
7. 近くの公園などで過ごす
8. 一時的に滞在できる場所を探す
9. 宿泊場所を探す
10. 運転再開まで待つ
11. その他（ ）
12. 特に何も考えていない

問 13 その他「中原区のここが好き」、「日頃のお困りごと」等を、御自由に御記入ください。



(あなた御自身についてお尋ねします)

F1 あなたの性別をお聞かせください。(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

F2 あなたの年齢をお聞かせください。(○は1つだけ)

1. 18~19 歲
2. 20~29 歲
3. 30~39 歲
4. 40~49 歲
5. 50~59 歲
6. 60~64 歲
7. 65~74 歲
8. 75 歲以上

F3 あなたの現在の職業をお聞かせください。(○は1つだけ)

1. 自営業主
2. 自営業の手伝い（家族従業者）
3. 会社などの経営者・役員
4. 正社員・正職員
5. パート・アルバイト・嘱託職員・派遣社員（正社員・正職員以外）
6. 主婦・主夫（家事専業）
7. 学生
8. 無職（収入が年金のみの方を含む）
9. その他（ ）

F4 あなたのお勤め先または通学先をお聞かせください。(○は1つだけ)

1. 川崎市（中原区）
2. 川崎市（他の区）
3. 横浜市
4. 神奈川県内（川崎、横浜以外）
5. 東京都（23区内）
6. 東京都（23区外）
7. その他（ ）
8. 通勤・通学していない

F5 あなたのお住まいをお聞かせください。(該当する地区に○をつけてください)

1. 小杉地区 (市ノ坪、今井上町、今井仲町、今井西町、今井南町、小杉、小杉御殿町1・2丁目、小杉陣屋町1・2丁目、小杉町1～3丁目、等々力)
2. 玉川地区 (上平間、北谷町、下沼部、田尻町、中丸子)
3. 大戸地区 (上小田中1～7丁目、上新城1・2丁目、下小田中1～6丁目、下新城1～3丁目、新城、新城1～5丁目、新城中町、宮内1～4丁目)
4. 丸子地区 (上丸子、上丸子山王町1・2丁目、上丸子天神町、上丸子八幡町、新丸子東1～3丁目、新丸子町、丸子通1・2丁目)
5. 住吉地区 (井田1～3丁目、井田三舞町、井田杉山町、井田中ノ町、大倉町、荳宿、木月1～4丁目、木月伊勢町、木月祇園町、木月住吉町、木月大町、西加瀬)

F6 ふだん、あなたがよく利用する駅はどちらですか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. J R武蔵小杉（南武線） | 7. 東急武蔵小杉 |
| 2. J R武蔵小杉（横須賀線） | 8. 東急新丸子 |
| 3. J R武蔵中原 | 9. 東急元住吉 |
| 4. J R武蔵新城 | 10. 東急日吉 |
| 5. J R向河原 | 11. その他（ ） |
| 6. J R平間 | 12. 駅は利用しない ⇒ F7へ |

F6-1 (F6で、「1」～「11」と回答した方にお尋ねします)

ふだん、あなたがよく利用する駅まで、主にどのような手段で行きますか。
(○は1つだけ)

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1. 徒歩 | 3. バイク | 5. 自家用車 |
| 2. 自転車 | 4. バス | |

F7 あなたのお住まいの形態は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 持家(一戸建) | 4. 借家(マンション・集合住宅) |
| 2. 持家(マンション・集合住宅) | 5. 社宅・寮・公務員宿舎 |
| 3. 借家(一戸建) | 6. その他() |

F8 現在、一緒にお住まいの方は、あなたを含めて何人ですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|-------------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 ⇒ F9へ | 3. 3人 | 5. 5人 | 7. 7人以上 |
| 2. 2人 | 4. 4人 | 6. 6人 | |

F8-1 (F8で、「2」～「7」と回答した方にお尋ねします)

また、一緒にお住まいの方で次にあてはまる方は何人いますか。
(該当する番号に○をつけ、人数をお書きください)

- | | | |
|-----------------|----------------|--------|
| 1. 未就学児 ⇒ () 人 | 3. 中学生 ⇒ () 人 | 5. いない |
| 2. 小学生 ⇒ () 人 | 4. 高校生 ⇒ () 人 | |

F8-2 (F8で、「2」～「7」と回答した方にお尋ねします)

また、一緒にお住まいの方であなたとは別に 65 歳以上の方はいますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

F9 あなたは町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

調査に御協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、6月10日(月)までに郵便ポストに
投函してください(返信用封筒に切手は貼らないでください)。

中原区区民アンケート

報告書

令和6（2024）年12月

川崎市中原区役所まちづくり推進部企画課

〒211-8570 川崎市中原区小杉町3-245

電話（044）744-3149

FAX（044）744-3340